

在宅介護実態調査報告書

令和8年3月

古賀市保健福祉部健康介護課

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	2
2.	調査の方法	2
3.	調査結果の表示方法	2
4.	標本の構成	3
II	調査結果	4
1.	調査対象者について	5
(1)	回答者	5
(2)	世帯類型	5
(3)	対象者の性別	6
(4)	対象者の年齢	6
(5)	対象者の要介護度	7
(6)	施設等への入所・入居の検討状況	8
(7)	対象者が現在抱えている傷病	9
(8)	介護保険サービスの利用状況	11
(9)	介護保険サービスの利用回数	12
(10)	介護保険サービスを利用していない理由	15
(11)	介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況	17
(12)	在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	19
(13)	訪問診療の利用状況	22
(14)	家族からの介護の状況	23
2.	主な介護者について	24
(1)	介護を理由とした退職の有無	24
(2)	主な介護者の続柄	24
(3)	主な介護者の性別	25
(4)	主な介護者の年齢	26
(5)	主な介護者が行っている介護等	27
(6)	主な介護者が不安を感じる介護等	29
(7)	主な介護者の勤務形態	32
(8)	働き方の調整の有無	33
(9)	仕事と介護の両立に効果があると感じる支援策	35
(10)	働きながら介護を続けることについて	37
3.	主な介護者の相談相手について	38
(1)	主な介護者の心配事を聞いてくれる人	38
(2)	主な介護者が病気で寝込んだときに看病をしてくれる人	39
(3)	主な介護者が家族・友人・知人以外で相談する相手	40
4.	調査対象者の在宅医療・介護の希望について	41
(1)	将来、希望する暮らし方	41
(2)	自宅で介護を受ける場合に希望する介護者	42
(3)	終末期医療に関する話し合いの有無	43
(4)	最期を過ごしたい場所	44
◎	使用した調査票	45

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施した。

2 調査の方法

- | | |
|-------------|--|
| (1) 調査地域 | 古賀市全域 |
| (2) 調査対象者 | 要介護認定者（要支援認定者、事業対象者は含まない）のうち、在宅で生活している 65 歳以上の高齢者（令和 7 年 9 月末時点） |
| (3) サンプル数 | 1,100 人 |
| (4) 調査方法 | 郵送調査 |
| (5) 調査期間 | 令和 7 年 12 月 8 日～令和 8 年 1 月 9 日 |
| (6) 回収数 (%) | 625 票 (56.8%) |

3. 調査結果の表示方法

- ◇回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示している。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100%にならない場合がある。
- ◇複数回答が可能な質問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100%を超える。
- ◇数表中の「－」は、該当する選択肢の回答がないことを示す。
- ◇文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち 2 つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。
- ◇要介護認定者が調査対象者であるにもかかわらず、要支援者が回答者として記載されるなど、回答内容に不整合がみられるが、集計上はこれらの回答を含めている。
なお、一部の項目については、当該不整合が結果に影響を及ぼしている可能性があるため、解釈に当たっては留意が必要である。
- ◇今回の調査は、次の調査結果と比較分析を行っている。
古賀市「在宅介護実態調査」 令和 4 年 12 月実施

4. 標本の構成

(%)

		標 本 数	世帯類型				調査対象者の性別			調査対象者の年齢							
			単 身 世 帯	夫 婦 の み 世 帯	そ の 他	無 回 答	男 性	女 性	無 回 答	6 5 歳 未 満	6 5 ～ 6 9 歳	7 0 ～ 7 4 歳	7 5 ～ 7 9 歳	8 0 ～ 8 4 歳	8 5 ～ 8 9 歳	9 0 歳 以 上	無 回 答
全 体		625 100.0	151 24.2	219 35.0	237 37.9	18 2.9	219 35.0	401 64.2	5 0.8	17 2.7	22 3.5	45 7.2	94 15.0	113 18.1	160 25.6	170 27.2	4 0.6
小 学 校 区 別	青柳小学校区	68	25.0	32.4	39.7	2.9	35.3	64.7	－	2.9	－	8.8	19.1	19.1	22.1	27.9	－
	小野小学校区	51	25.5	29.4	43.1	2.0	27.5	72.5	－	2.0	－	9.8	13.7	13.7	33.3	27.5	－
	古賀東小学校区	138	29.0	32.6	36.2	2.2	33.3	66.7	－	2.9	5.1	2.2	15.2	16.7	26.8	30.4	0.7
	古賀西小学校区	121	24.0	33.9	38.8	3.3	37.2	61.2	1.7	1.7	5.0	7.4	14.9	14.0	28.9	28.1	－
	花鶴小学校区	63	19.0	36.5	42.9	1.6	27.0	73.0	－	4.8	6.3	7.9	9.5	22.2	20.6	28.6	－
	千鳥小学校区	54	22.2	38.9	31.5	7.4	46.3	50.0	3.7	1.9	1.9	13.0	18.5	18.5	20.4	22.2	3.7
	花見小学校区	75	22.7	37.3	36.0	4.0	34.7	64.0	1.3	1.3	2.7	4.0	16.0	22.7	28.0	24.0	1.3
	舞の里小学校区	55	20.0	43.6	36.4	－	40.0	60.0	－	5.5	3.6	12.7	12.7	21.8	20.0	23.6	－
		標 本 数	要介護度														
			要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	わ か ら な い			無 回 答				
全 体		625 100.0	26 4.2	29 4.6	147 23.5	180 28.8	96 15.4	77 12.3	40 6.4	14 2.2	16 2.6						
小 学 校 区 別	青柳小学校区	68	4.4	4.4	16.2	32.4	11.8	16.2	10.3	2.9	1.5						
	小野小学校区	51	3.9	2.0	29.4	35.3	9.8	9.8	2.0	7.8	－						
	古賀東小学校区	138	3.6	4.3	22.5	26.1	20.3	10.9	7.2	2.2	2.9						
	古賀西小学校区	121	3.3	3.3	23.1	29.8	15.7	16.5	4.1	0.8	3.3						
	花鶴小学校区	63	9.5	3.2	34.9	22.2	9.5	14.3	3.2	1.6	1.6						
	千鳥小学校区	54	1.9	9.3	18.5	29.6	16.7	7.4	9.3	1.9	5.6						
	花見小学校区	75	4.0	9.3	24.0	26.7	13.3	9.3	9.3	－	4.0						
	舞の里小学校区	55	3.6	1.8	21.8	32.7	20.0	10.9	5.5	3.6	－						

Ⅱ 調査結果

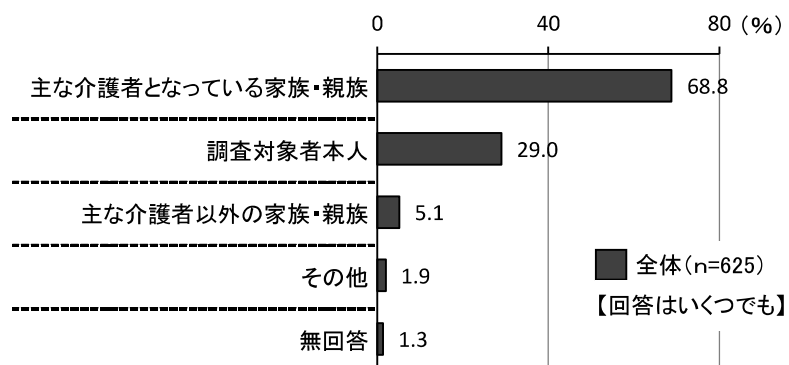
Ⅱ 調査結果

1. 調査対象者について

(1) 回答者

問1(1) 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）

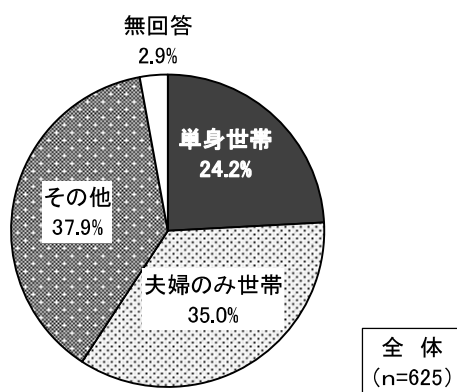
調査票への回答は「主な介護者となっている家族・親族」が68.8%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が29.0%である。



(2) 世帯類型

問1(2) 世帯について、ご回答ください（1つを選択）

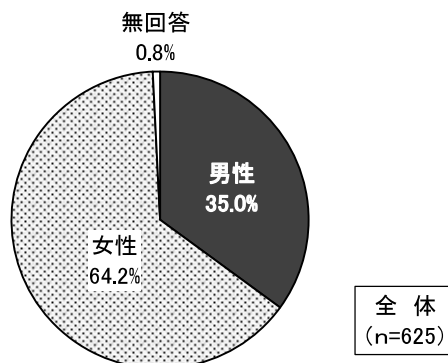
調査対象者の世帯は「その他」が37.9%、「夫婦のみの世帯」が35.0%、「単身世帯」が24.2%である。



(3) 対象者の性別

問1(3) ご本人の性別について、ご回答ください(1つを選択)

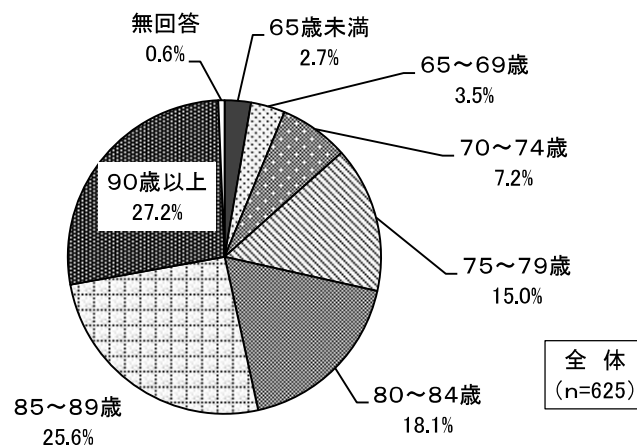
調査対象者の性別は「男性」が35.0%、「女性」が64.2%である。



(4) 対象者の年齢

問1(4) ご本人の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

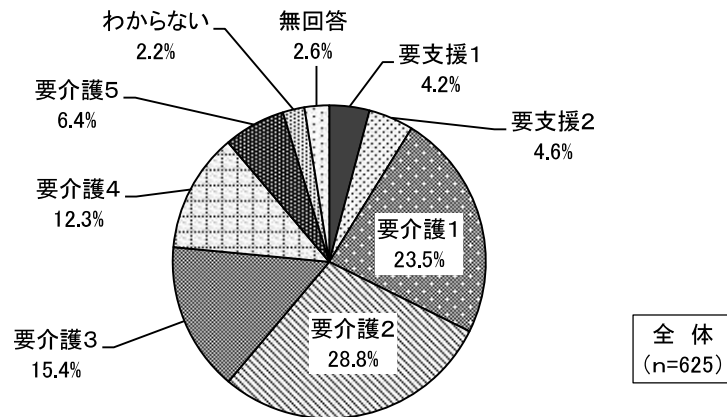
調査対象者の年齢は「90歳以上」が27.2%と最も高く、以下、「85～89歳」が25.6%、「80～84歳」が18.1%、「75～79歳」が15.0%、「70～74歳」が7.2%、「65～69歳」が3.5%、「65歳未満」が2.7%である。



(5) 対象者の要介護度

問1(5) ご本人の要介護度について、ご回答ください(1つを選択)

調査対象者の要介護度は「要介護2」が28.8%と最も高く、次いで「要介護1」が23.5%、「要介護3」が15.4%、「要介護4」が12.3%、「要介護5」が6.4%、「要支援2」は4.6%、「要支援1」は4.2%である。



(6) 施設等への入所・入居の検討状況

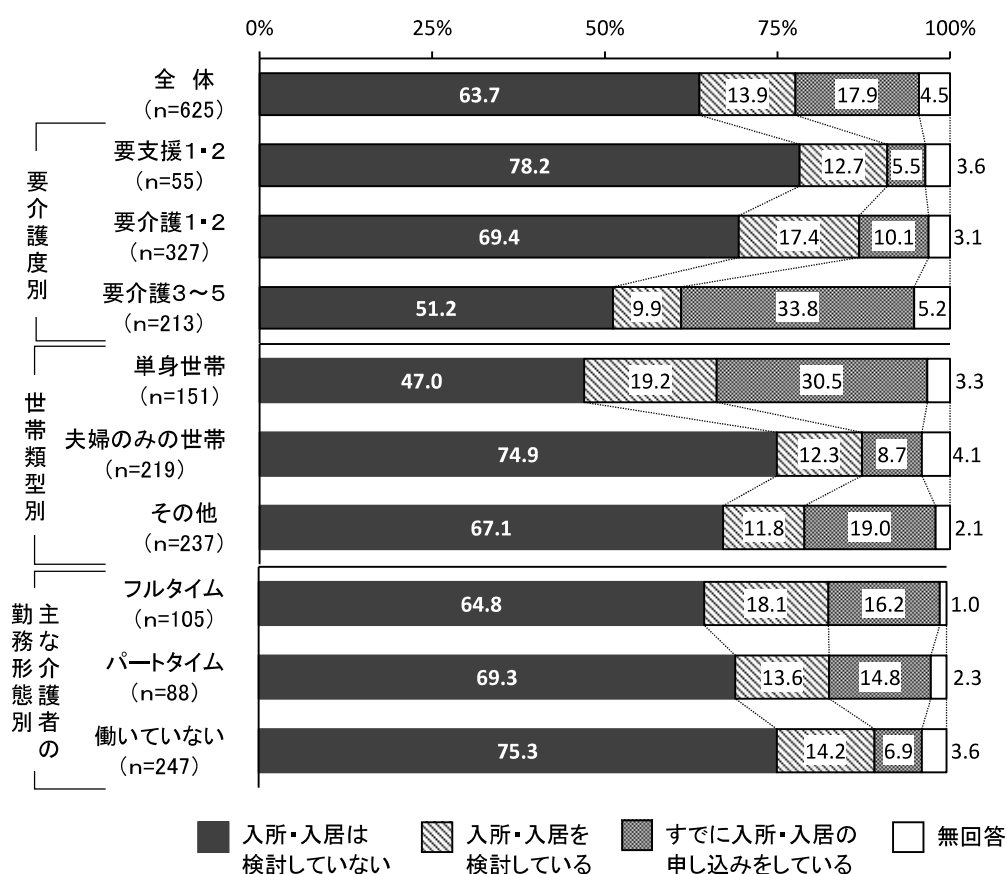
問1(6) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

施設等への入所・入居の検討状況は「入所・入居は検討していない」が63.7%、「入所・入居を検討している」が13.9%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」が17.9%である。

要介護度別にみると、「入所・入居は検討していない」は「要支援1・2」が78.2%、「要介護1・2」が69.4%、「要介護3～5」が51.2%と介護度が上がるにつれ割合は低くなっている。「すでに入所・入居の申し込みをしている」は「要介護3～5」では33.8%と「要支援1・2」(5.5%)や「要介護1・2」(10.1%)より23.7～28.3ポイント高い。

世帯類型別にみるといずれの世帯も「入所・入居は検討していない」の割合が最も高いが、「単身世帯」では47.0%と他の世帯に比べて20ポイント以上低く、「すでに入所・入居の申し込みをしている」(30.5%)や「入所・入居を検討している」(19.2%)などの割合が高い。

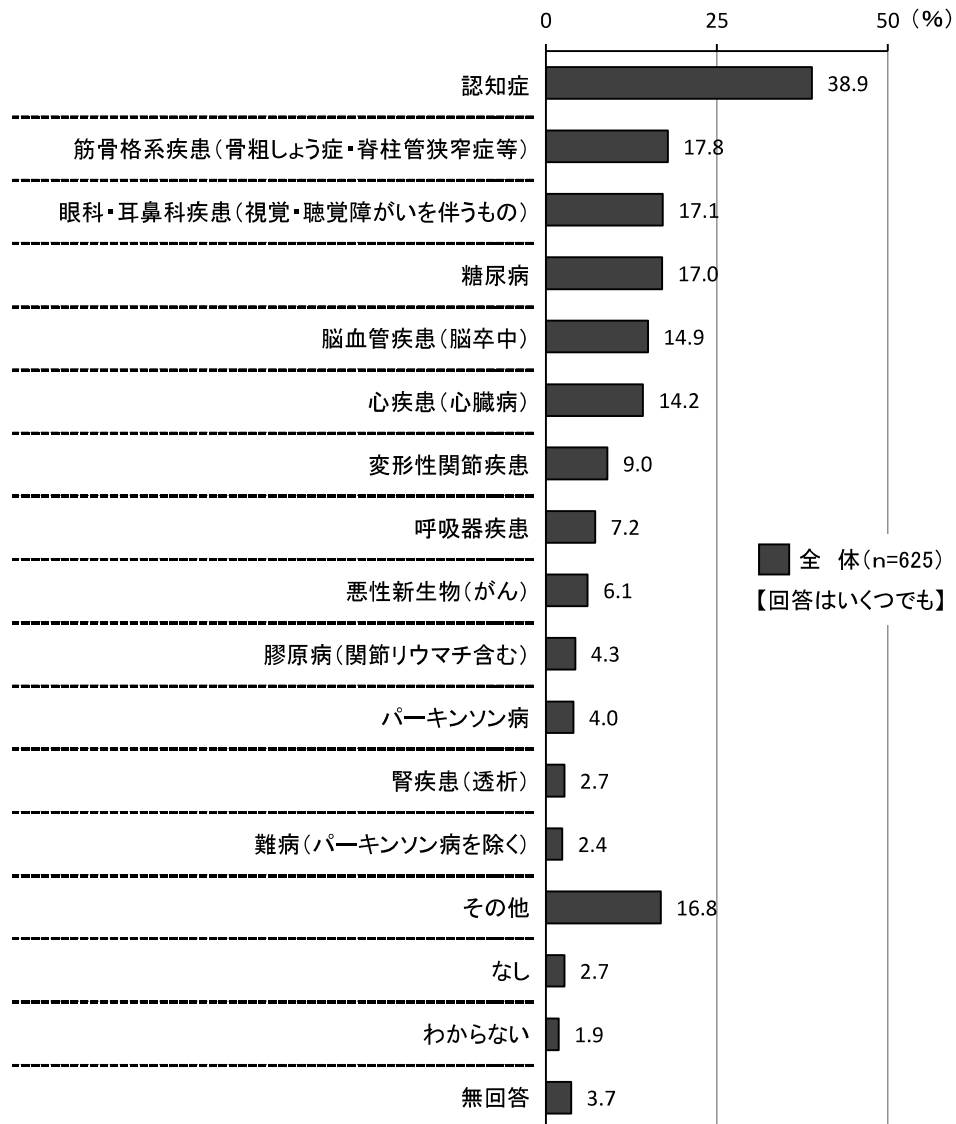
主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム」では「すでに入所・入居の申し込みをしている」(16.2%)や「入所・入居を検討している」(18.1%)の割合が「パートタイム」や「働いていない」人に比べて高い。



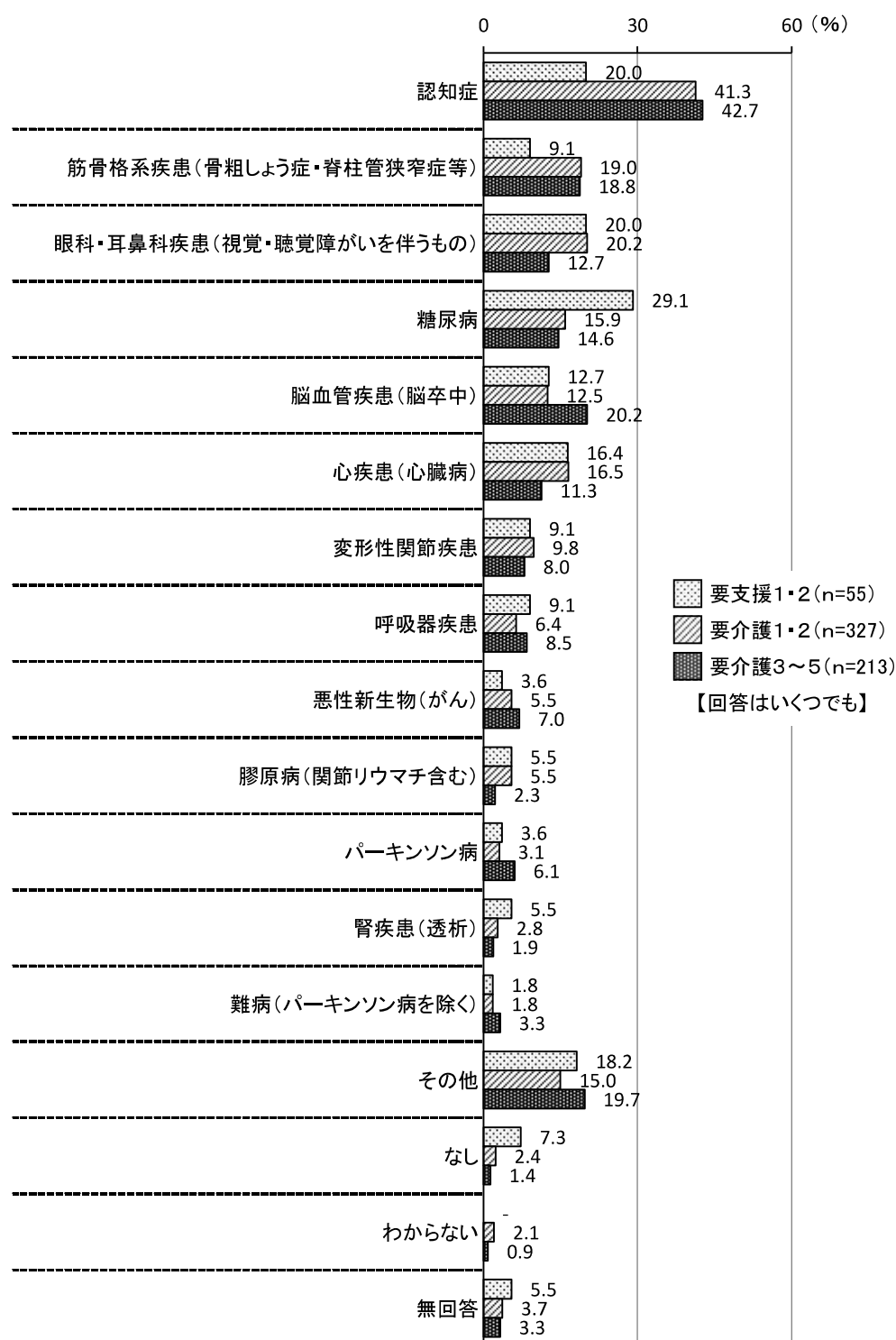
(7) 対象者が現在抱えている傷病

問1(7) ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(複数選択可)

調査対象者が現在抱えている傷病は「認知症」が38.9%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症・脊柱管狭窄症等)」が17.8%、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障がいを伴うもの)」が17.1%、「糖尿病」が17.0%、「脳血管疾患(脳卒中)」が14.9%、「心疾患(心臓病)」が14.2%である。



要介護度別にみると、「要介護1・2」と「要介護3～5」では「認知症」が約4割と最も高く、「要支援1・2」では「糖尿病」が29.1%と最も高い。また、「要介護1・2」と「要介護3～5」では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症・脊柱管狭窄症等）」が約2割、「要介護3～5」では「脳血管疾患（脳卒中）」が20.2%、「要支援1・2」と「要介護1・2」では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障がいを伴うもの）」が約2割、「心疾患（心臓病）」が1割台半ばと高い。



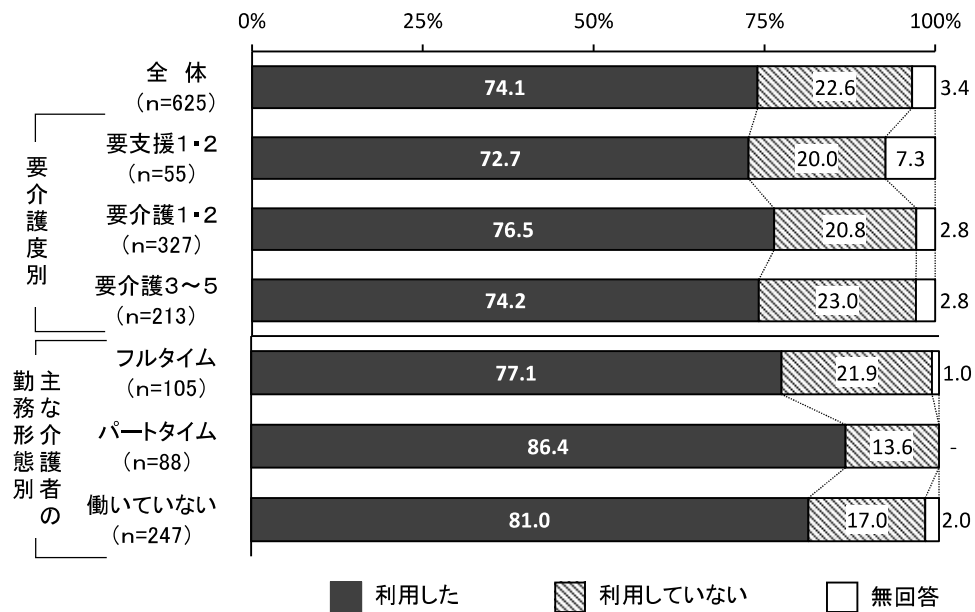
(8) 介護保険サービスの利用状況

問1(8) 令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外)の介護保険サービスを利用しましたか(1つを選択)

介護保険サービスの利用について、「利用した」が74.1%、「利用していない」が22.6%である。

要介護度別にみると、いずれの介護度も「利用した」が7割を超えている。

主な介護者の勤務形態別にみると、「利用した」は「パートタイム」(86.4%)と「働いていない」(81.0%)で8割台であるが、「フルタイム」は77.1%と8割を下回っている。

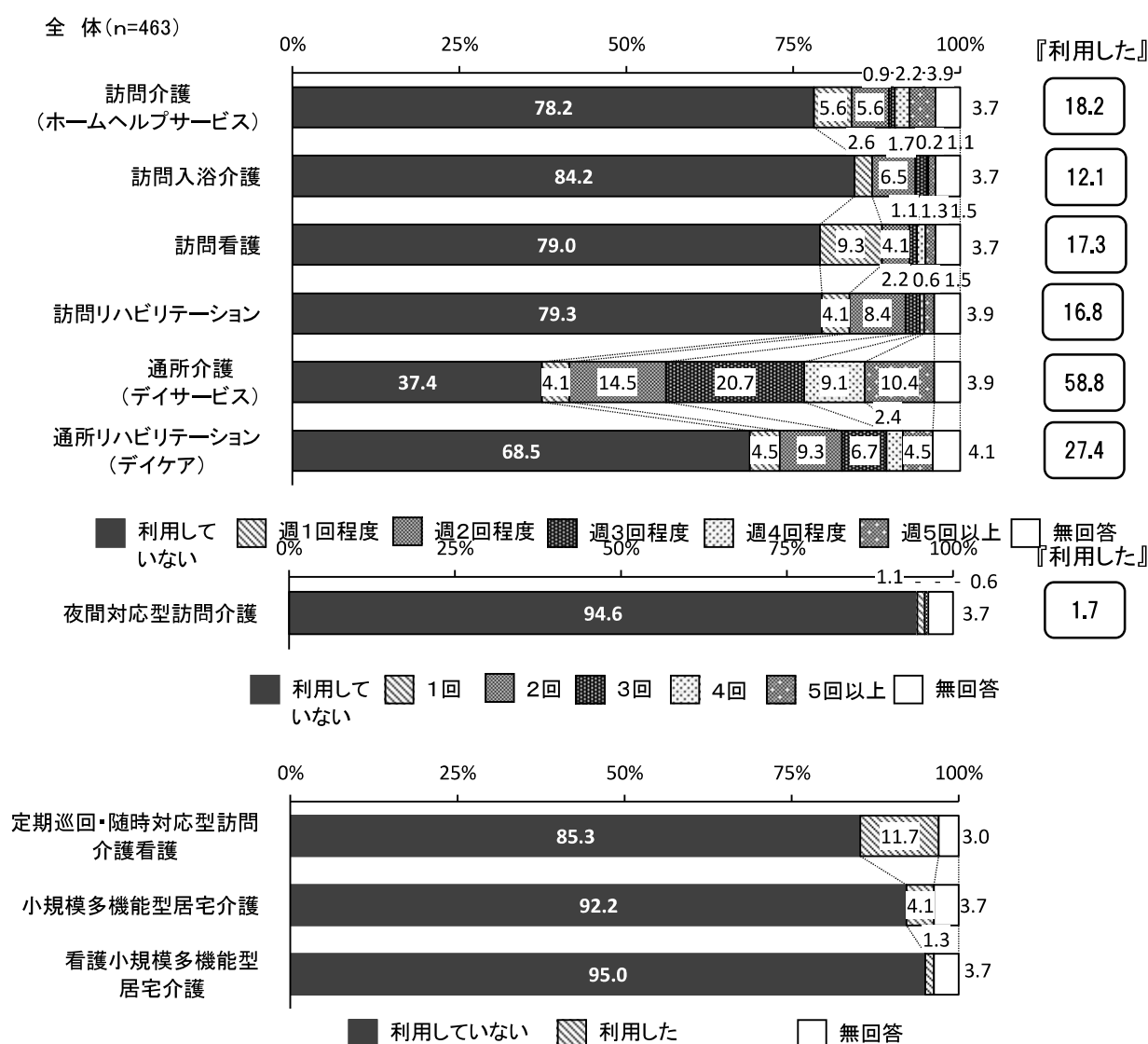


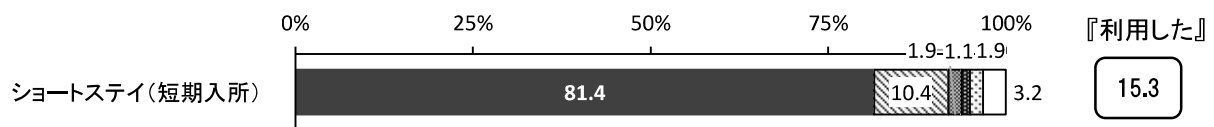
(9) 介護保険サービスの利用回数

問1(9) 問1(8)で「1.」と回答した方にお伺いします。

以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。
対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない)」を選択してください
(それぞれ1つに○)

令和7年11月の1か月間の介護保険サービスの利用回数について、「通所介護(デイサービス)」は「週3回程度」が20.7%、「週2回程度」が14.5%、「週5回以上」が10.4%と利用のあった割合を合わせた『利用した』が58.8%と最も高い。次いで「通所リハビリテーション(デイケア)」が27.4%、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が18.2%、「訪問看護」が17.3%、「訪問リハビリテーション」が16.8%、「ショートステイ(短期入所)」が15.3%、「居宅療養管理指導」が13.8%、「訪問入浴介護」が12.1%である。





利用していない
 月1～7日程度
 月8～14日程度
 月15～21日程度
 月22日以上
 無回答



利用していない
 月1回程度
 月2回程度
 月3回程度
 月4回程度
 無回答

要介護度別にみると、いずれの介護度でも「通所介護（デイサービス）」を『利用した』が5割を超えて高いが、「要介護3～5」では61.4%と最も高い。その他「要支援1・2」では「通所リハビリテーション（デイケア）」（35.0%）や「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（25.0%）の『利用した』が高い。「要介護3～5」では「訪問看護」「ショートステイ（短期入所）」（同率26.6%）、「訪問入浴介護」（24.1%）、「訪問リハビリテーション」（24.0%）、「居宅療養管理指導」（23.4%）、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（15.8%）などの利用が他の要介護度に比べて高い。

(%)

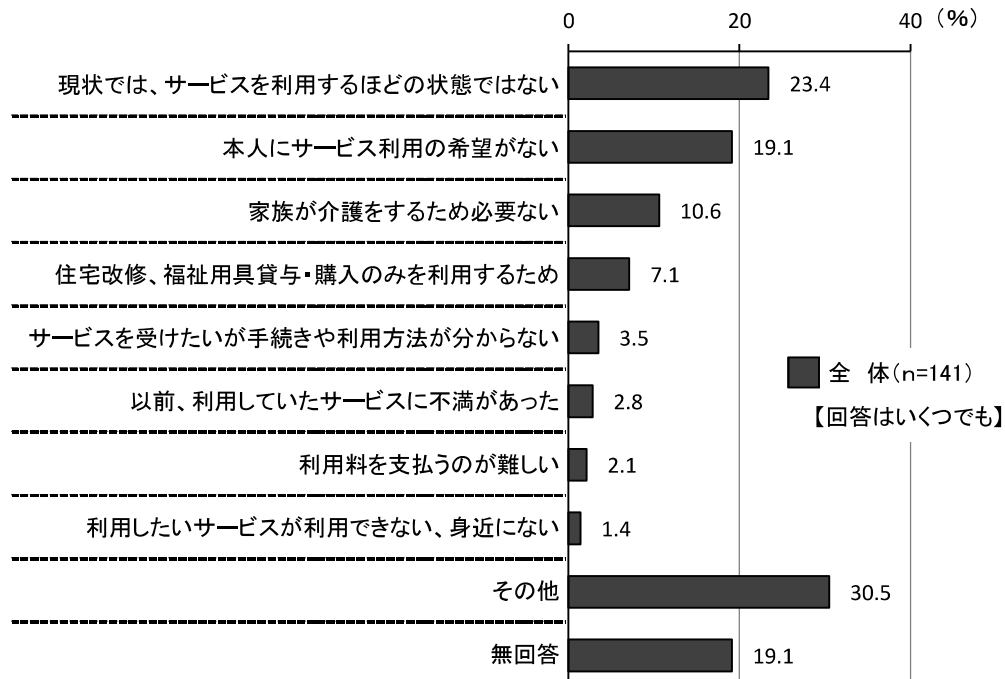
			標 本 数	訪問介護 (ホームヘルプサービス)			訪問入浴介護			訪問看護			訪問リハビリテーション		
				い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答	い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答	い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答	い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答
全 体			463 100.0	362 78.2	84 18.2	17 3.7	390 84.2	56 12.1	17 3.7	366 79.0	80 17.3	17 3.7	367 79.3	78 16.8	18 3.9
要 介 護 度 別	要支援1・2		40	72.5	25.0	2.5	90.0	7.5	2.5	87.5	10.0	2.5	80.0	17.5	2.5
	要介護1・2		250	81.6	15.6	2.8	91.2	6.0	2.8	84.0	13.2	2.8	85.2	12.0	2.8
	要介護3～5		158	74.7	20.9	4.4	71.5	24.1	4.4	69.0	26.6	4.4	70.9	24.0	5.1
	わからない・無回答		15	73.3	13.4	13.3	86.7	—	13.3	80.0	6.7	13.3	66.7	20.0	13.3
			標 本 数	通所介護 (デイサービス)			通所リハビリテーション (デイケア)			夜間対応型訪問介護					
				い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答	い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答	い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答			
全 体			463 100.0	173 37.4	272 58.8	18 3.9	317 68.5	127 27.4	19 4.1	438 94.6	8 1.7	17 3.7			
要 介 護 度 別	要支援1・2		40	45.0	52.5	2.5	62.5	35.0	2.5	97.5	1.7	2.5			
	要介護1・2		250	38.8	58.0	3.2	68.4	28.0	3.6	96.8	0.4	2.8			
	要介護3～5		158	34.2	61.4	4.4	68.4	27.3	4.4	91.1	4.4	4.4			
	わからない・無回答		15	26.7	60.0	13.3	86.7	—	13.3	86.7	—	13.3			
			標 本 数	定期巡回・随時対応型 訪問介護看護			小規模多機能型 居宅介護			看護小規模多機能型 居宅介護					
				い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答	い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答	い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答			
全 体			463 100.0	395 85.3	54 11.7	14 3.0	427 92.2	19 4.1	17 3.7	440 95.0	6 1.3	17 3.7			
要 介 護 度 別	要支援1・2		40	95.0	5.0	—	95.0	2.5	2.5	95.0	2.5	2.5			
	要介護1・2		250	87.6	10.0	2.4	95.2	2.0	2.8	96.4	0.8	2.8			
	要介護3～5		158	79.7	15.8	4.4	87.3	8.2	4.4	93.7	1.9	4.4			
	わからない・無回答		15	80.0	13.3	6.7	86.7	—	13.3	86.7	—	13.3			
			標 本 数	ショートステイ (短期入所)			居宅療養管理指導								
				い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答	い 利 な 用 い し て	利 用 し た	無 回 答						
全 体			463 100.0	377 81.4	71 15.3	15 3.2	379 81.9	64 13.8	20 4.3						
要 介 護 度 別	要支援1・2		40	87.5	5.0	7.5	85.0	10.0	5.0						
	要介護1・2		250	86.4	10.8	2.8	88.0	8.4	3.6						
	要介護3～5		158	70.9	26.6	2.5	72.2	23.4	4.4						
	わからない・無回答		15	93.3	—	6.7	73.3	13.3	13.3						

(10)介護保険サービスを利用していない理由

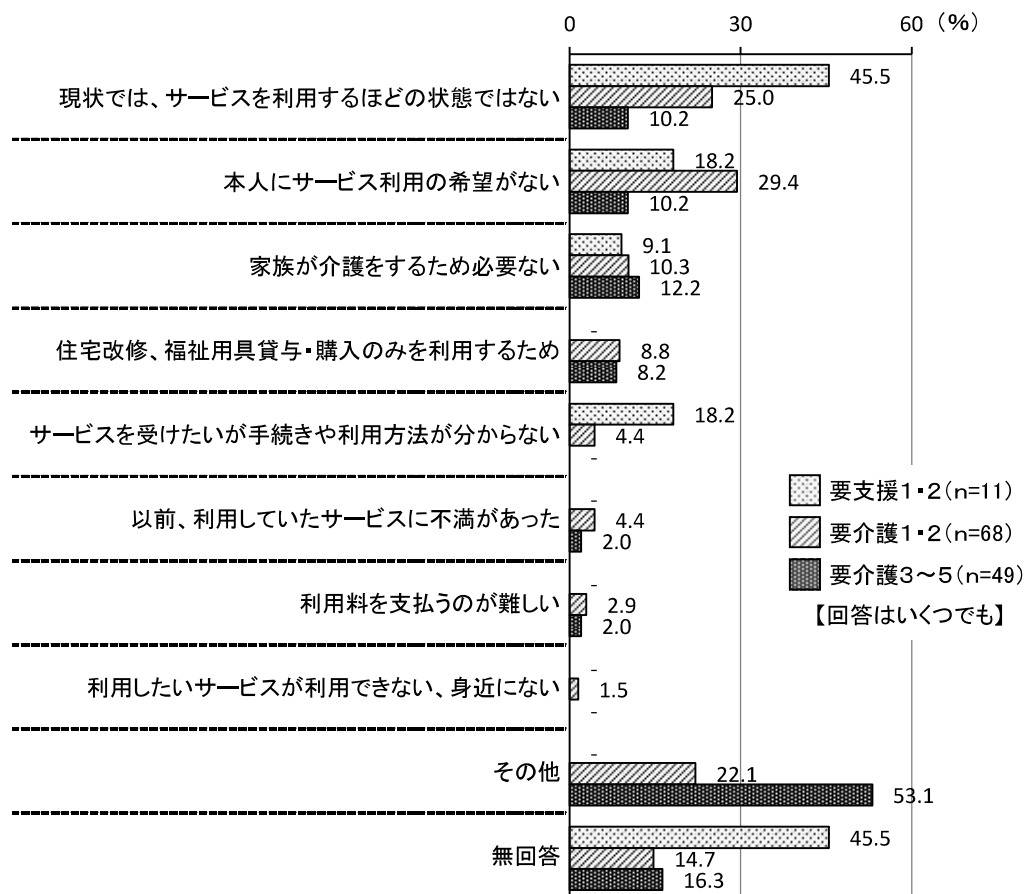
問1(10) 問1(8)で「2.」と回答した方にお伺いします。

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が23.4%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が19.1%、「家族が介護をするため必要ない」が10.6%である。



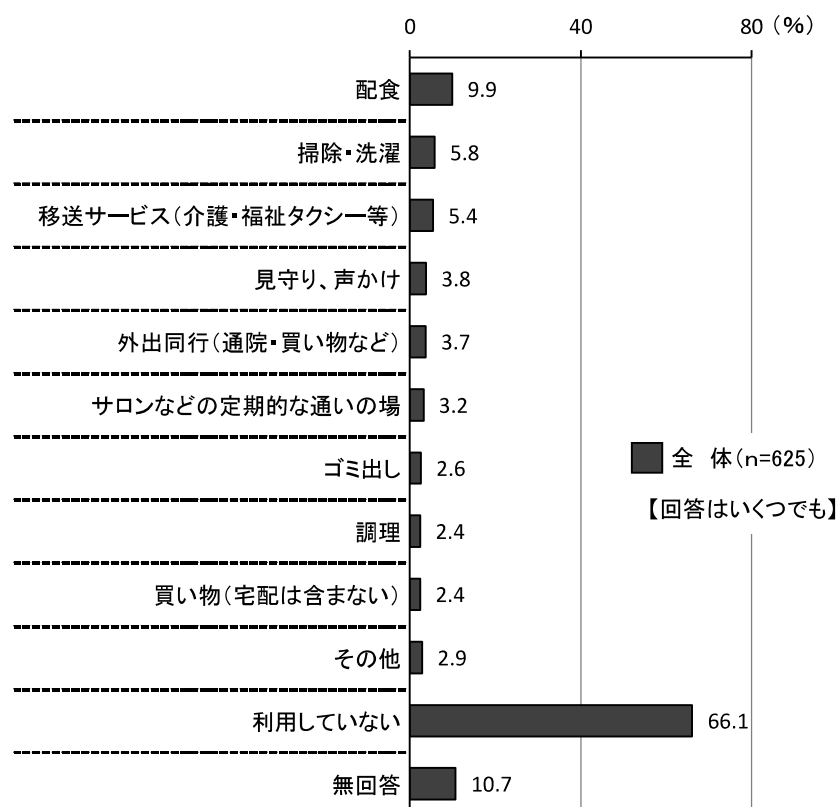
要介護度別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が45.5%と最も高い。また、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が18.2%と他の介護度に比べて高い。「要介護1・2」では「本人にサービス利用の希望がない」が29.4%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が25.0%となっている。「要介護3～5」では「家族が介護をするため必要ない」が12.2%と比較的高い。「要介護3～5」で「その他」が53.1%あるが、「入院中」がほとんどである。



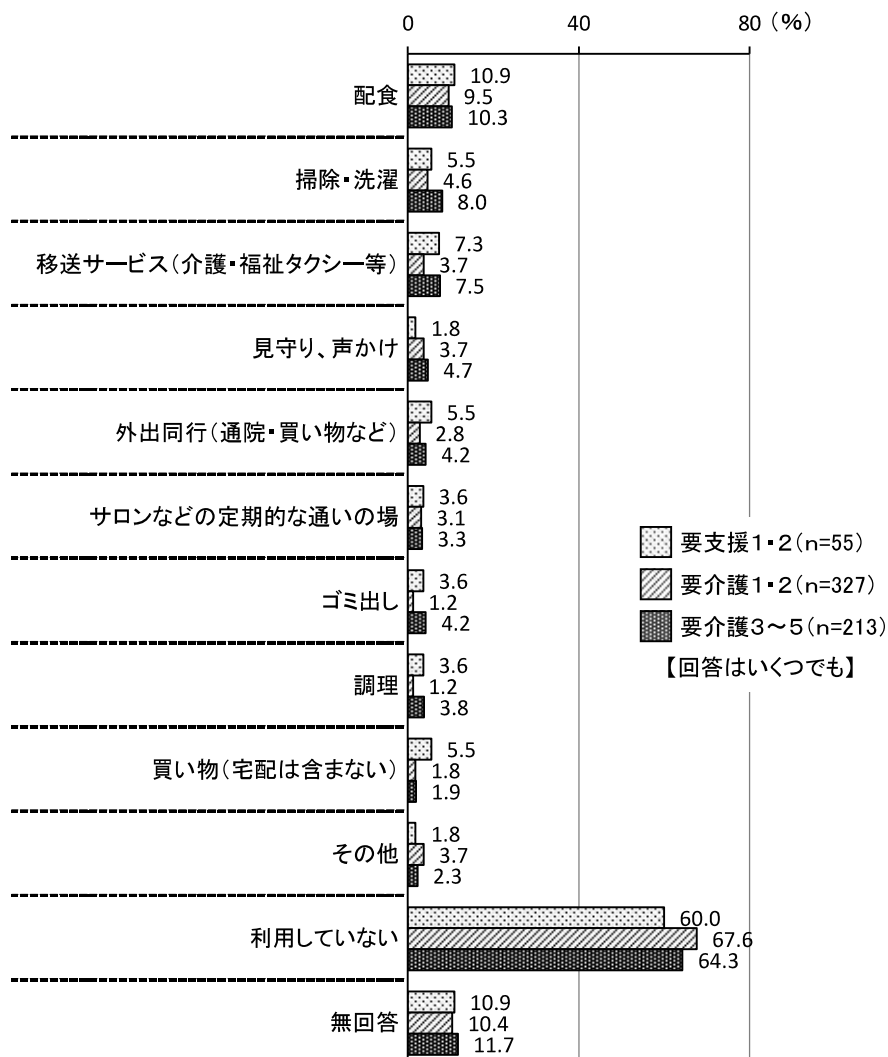
(11) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

問1(11) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについてご回答ください
(複数選択可)

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況について、「利用していない」が66.1%と最も高い。利用しているサービスでは「配食」が9.9%、「掃除・洗濯」が5.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が5.4%である。



要介護度別にみると、いずれの介護度でも「利用していない」が6割台であるが、特に「要介護1・2」では67.6%と最も高い。「配食」はいずれの介護度でも約1割の利用があり、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は「要支援1・2」と「要介護3～5」の利用が約7%、「掃除・洗濯」は「要介護3～5」の利用が8.0%ある。



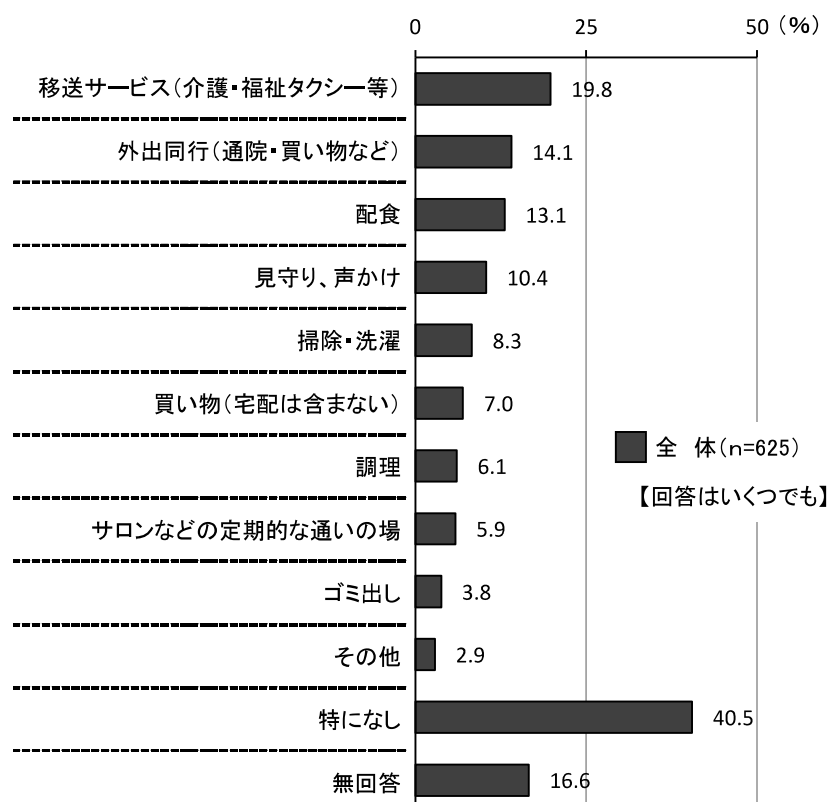
世帯類型別にみると、「単身世帯」では「配食」が15.2%、「掃除・洗濯」が9.9%、「ゴミ出し」が6.0%と他の世帯類型に比べて利用の割合が高い。

		標本数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院・買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全 体		625 100.0	62 9.9	15 2.4	36 5.8	15 2.4	16 2.6	23 3.7	34 5.4	24 3.8	20 3.2	18 2.9	413 66.1	67 10.7
世帯類型別	単身世帯	151	15.2	4.0	9.9	3.3	6.0	4.0	2.6	4.6	3.3	4.0	60.9	11.3
	夫婦のみの世帯	219	6.8	1.4	4.6	1.8	0.9	3.7	7.8	1.4	2.7	2.7	66.7	10.5
	その他	237	9.7	2.5	4.6	2.5	2.1	3.8	5.5	5.9	3.8	2.1	69.2	9.3
	無回答	18	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	5.6	61.1	27.8

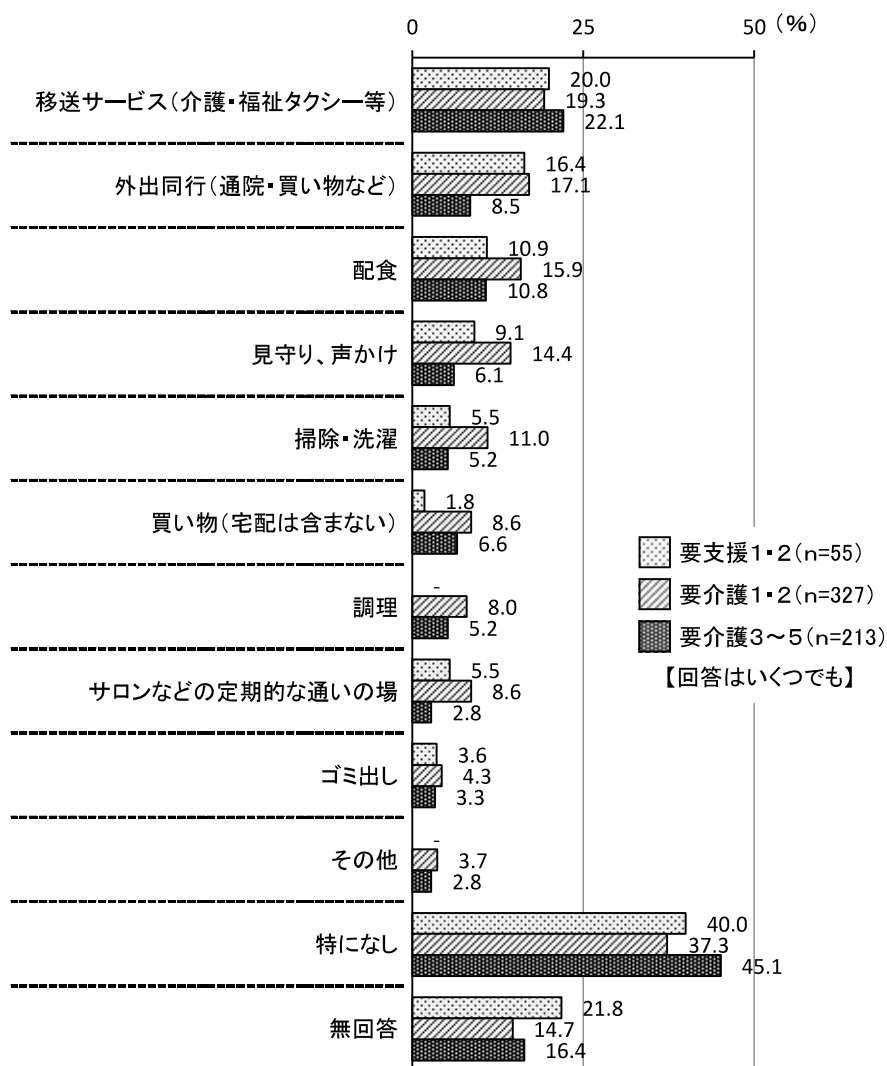
(12) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問1 (12) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が19.8%と最も高く、次いで「外出同行（通院・買い物など）」が14.1%、「配食」が13.1%、「見守り、声かけ」が10.4%である。「特になし」は40.5%である。



要介護度別にみると、いずれの介護度でも「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」は2割を超えて高い。その他「要支援1・2」と「要介護1・2」では「外出同行（通院・買い物など）」が約17%、「要介護1・2」では「配食」が15.9%、「見守り、声かけ」が14.4%、「掃除・洗濯」が11.0%、「買い物（宅配は含まない）」「サロンなどの定期的な通いの場」が同率 8.6%、「調理」8.0%と他の介護度に比べて割合が高い。「要介護3～5」では「特になし」が45.1%と他の介護度に比べて高い。



世帯類型別にみると、いずれの世帯でも「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が約2割と高い傾向にあり、「単身世帯」では「外出同行（通院・買い物など）」が17.9%、「見守り・声かけ」が15.2%、「配食」が13.9%の割合が高い。

主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム」では「外出同行（通院・買い物など）」が22.9%、「フルタイム」と「パートタイム」で「配食」が約18%、「見守り、声かけ」が約14%、「働いていない」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が28.3%と他の勤務形態に比べて割合が高い。

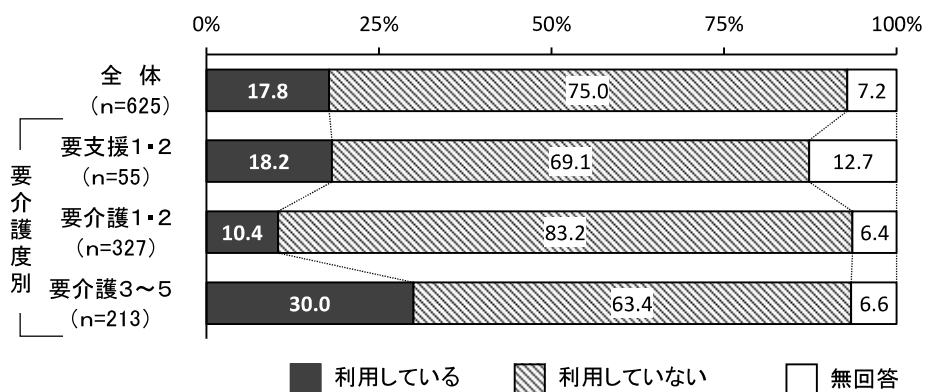
(%)

		標 本 数	配 食	調 理	掃 除 ・ 洗 濯	買 い 物 （ 宅 配 は 含 ま な い ）	ゴ ミ 出 し	外 出 同 行 （ 通 院 ・ 買 い 物 な ど ）	移 送 サ ー ビ ス （ 介 護 ・ 福 祉 タ ク シ ー 等 ）	見 守 り 、 声 か け	通 サ ロ ン な ど の 定 期 的 な 場 所	そ の 他	特 に な し	無 回 答
	全 体	625 100.0	82 13.1	38 6.1	52 8.3	44 7.0	24 3.8	88 14.1	124 19.8	65 10.4	37 5.9	18 2.9	253 40.5	104 16.6
世 帯 類 型 別	単身世帯	151	13.9	4.6	13.2	9.3	6.0	17.9	17.2	15.2	6.0	3.3	37.7	15.9
	夫婦のみの世帯	219	11.9	4.6	6.8	5.9	3.2	11.0	21.0	5.5	5.0	2.3	43.4	17.8
	その他	237	13.9	8.0	7.2	7.2	3.4	15.2	21.1	12.2	7.2	3.4	39.7	14.3
	無回答	18	11.1	11.1	-	-	-	5.6	11.1	5.6	-	-	38.9	38.9
主 な 介 護 者 の 勤 務 形 態 別	フルタイム	105	19.0	6.7	12.4	7.6	5.7	22.9	19.0	15.2	9.5	6.7	33.3	9.5
	パートタイム	88	17.0	9.1	11.4	5.7	2.3	13.6	17.0	13.6	9.1	3.4	43.2	6.8
	働いていない	247	13.8	5.7	6.9	8.5	2.4	12.1	28.3	8.9	5.7	1.6	40.5	15.4
	わからない・無回答	185	7.0	4.9	6.5	5.4	5.4	11.9	10.3	8.1	2.7	2.2	43.2	27.0

(13) 訪問診療の利用状況

問1(13) ご本人（調査対象者）は現在、訪問診療を利用していますか（1つを選択）

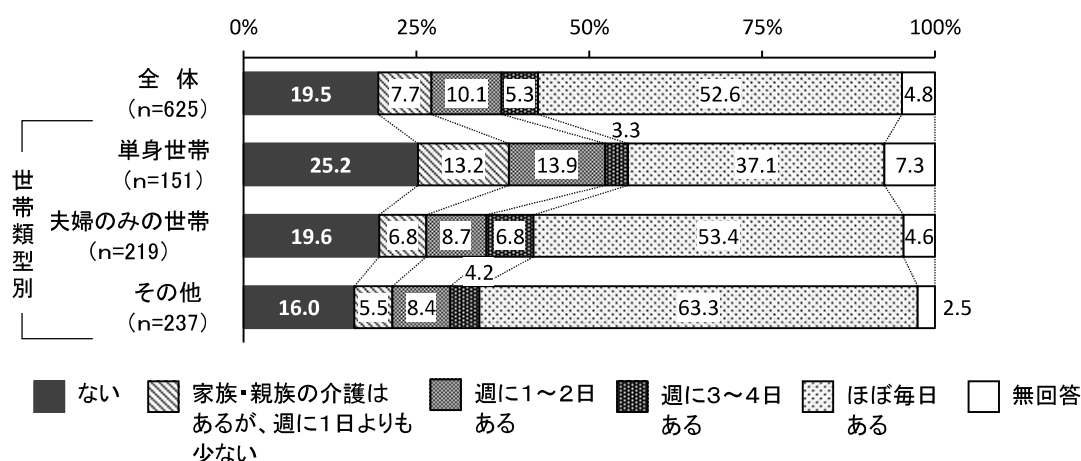
訪問診療の利用について、「利用している」が17.8%、「利用していない」が75.0%である。
要介護度別にみると、「利用している」は「要介護3～5」が30.0%と最も高く、「要支援1・2」が18.2%、「要介護1・2」が10.4%である。



(14) 家族からの介護の状況

問1 (14) ご家族やご親戚の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

家族や親戚からの介護の状況について、「ほぼ毎日ある」が52.6%と最も高く、「ない」は19.5%である。
世帯類型別にみると、「単身世帯」で「ない」が25.2%と他の世帯に比べて割合が高く、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」(13.2%)や「週に1～2日ある」(13.9%)なども高い。「夫婦のみの世帯」「その他」の世帯では「ほぼ毎日ある」が5割を超えている。

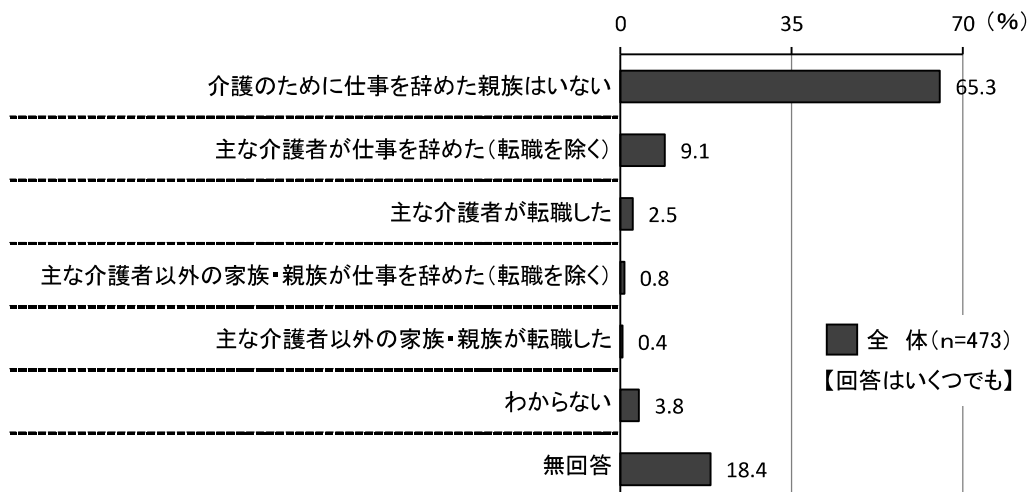


2. 主な介護者について

(1) 介護を理由とした退職の有無

問2 (1) ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

過去1年間に家族や親族の中で、介護を主な理由として仕事を辞めた人がいるかどうかについて、「介護のために仕事を辞めた親族はいない」が65.3%と最も高い。「主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)」は9.1%、「主な介護者が転職した」は2.5%である。



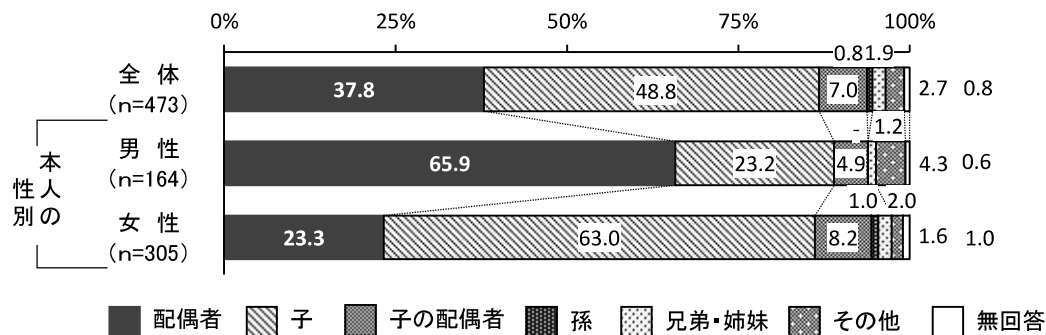
主な介護者別にみると、主な介護者が「子」の場合「主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)」が13.4%、また男性で12.0%と比較的高い。

		標本数	主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職を除く)	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた親族はいない	わからない	無回答
全体		473 100.0	43 9.1	12 2.5	4 0.8	2 0.4	309 65.3	18 3.8	87 18.4
主な介護者別	配偶者	179	4.5	0.6	1.1	0.6	61.5	5.0	27.4
	子	231	13.4	4.3	0.9	0.4	66.7	3.0	11.7
	子の配偶者	33	6.1	-	-	-	81.8	-	12.1
	孫	4	-	-	-	-	75.0	-	25.0
	兄弟・姉妹	9	-	11.1	-	-	55.6	-	33.3
	その他	13	15.4	-	-	-	69.2	7.7	7.7
	無回答	4	-	-	-	-	25.0	25.0	50.0
主な介護者の性別別	男性	150	12.0	1.3	-	0.7	64.0	6.7	16.0
	女性	315	7.9	3.2	1.3	0.3	66.7	2.5	18.4
	無回答	8	-	-	-	-	37.5	-	62.5

(2) 主な介護者の続柄

問2(2) 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

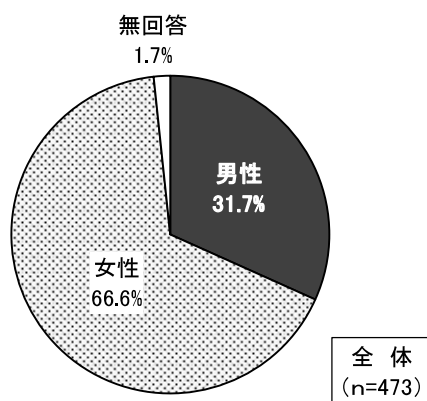
主な介護者は「子」が48.8%と最も高く、次いで「配偶者」が37.8%、「子の配偶者」が7.0%である。
調査対象者本人の性別にみると、「男性」は「配偶者」が65.9%、「女性」は「子」が63.0%と最も高い。



(3) 主な介護者の性別

問2(3) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

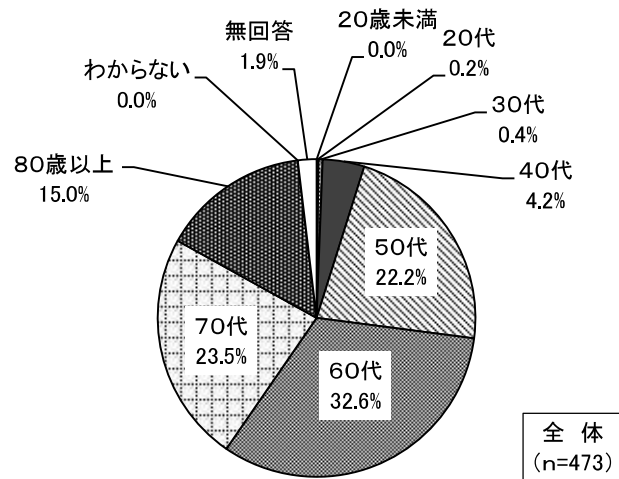
主な介護者の性別は、「男性」が31.7%、「女性」が66.6%である。



(4) 主な介護者の年齢

問2(4) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

主な介護者の年齢は、「60代」が32.6%と最も高く、次いで「70代」が23.5%、「50代」が22.2%、「80歳以上」が15.0%である。



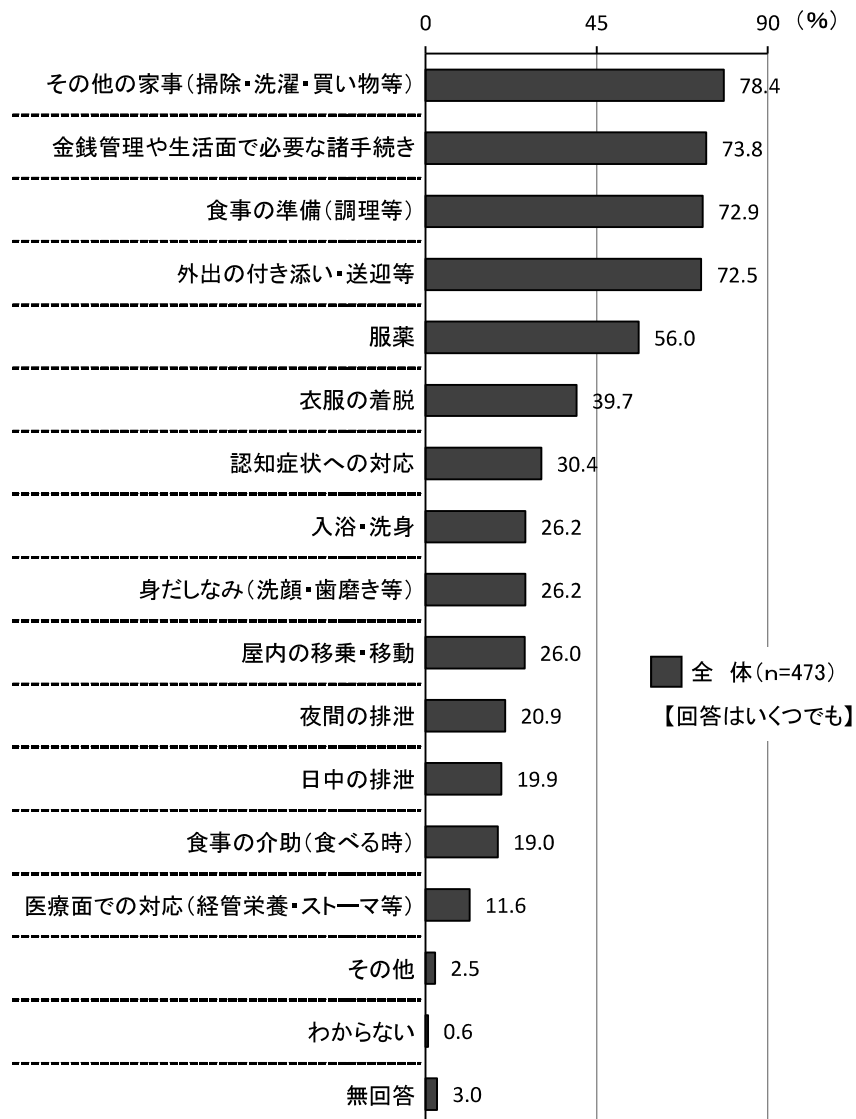
主な介護者別にみると、主な介護者が「配偶者」の場合「70代」(44.1%)と「80歳以上」(37.4%)、「子」の場合は「60代」(45.5%)と「50代」(37.7%)が主である。

		標本数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全 体		473	-	1	2	20	105	154	111	71	-	9
		100.0	-	0.2	0.4	4.2	22.2	32.6	23.5	15.0	-	1.9
主な介護者別	配偶者	179	-	-	-	-	1.7	15.6	44.1	37.4	-	1.1
	子	231	-	-	0.4	6.5	37.7	45.5	7.8	0.4	-	1.7
	子の配偶者	33	-	-	-	6.1	24.2	48.5	21.2	-	-	-
	孫	4	-	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	兄弟・姉妹	9	-	-	-	-	44.4	-	33.3	22.2	-	-
	その他	13	-	-	-	7.7	15.4	23.1	30.8	7.7	-	15.4
無回答		4	-	-	-	-	25.0	50.0	-	-	-	25.0

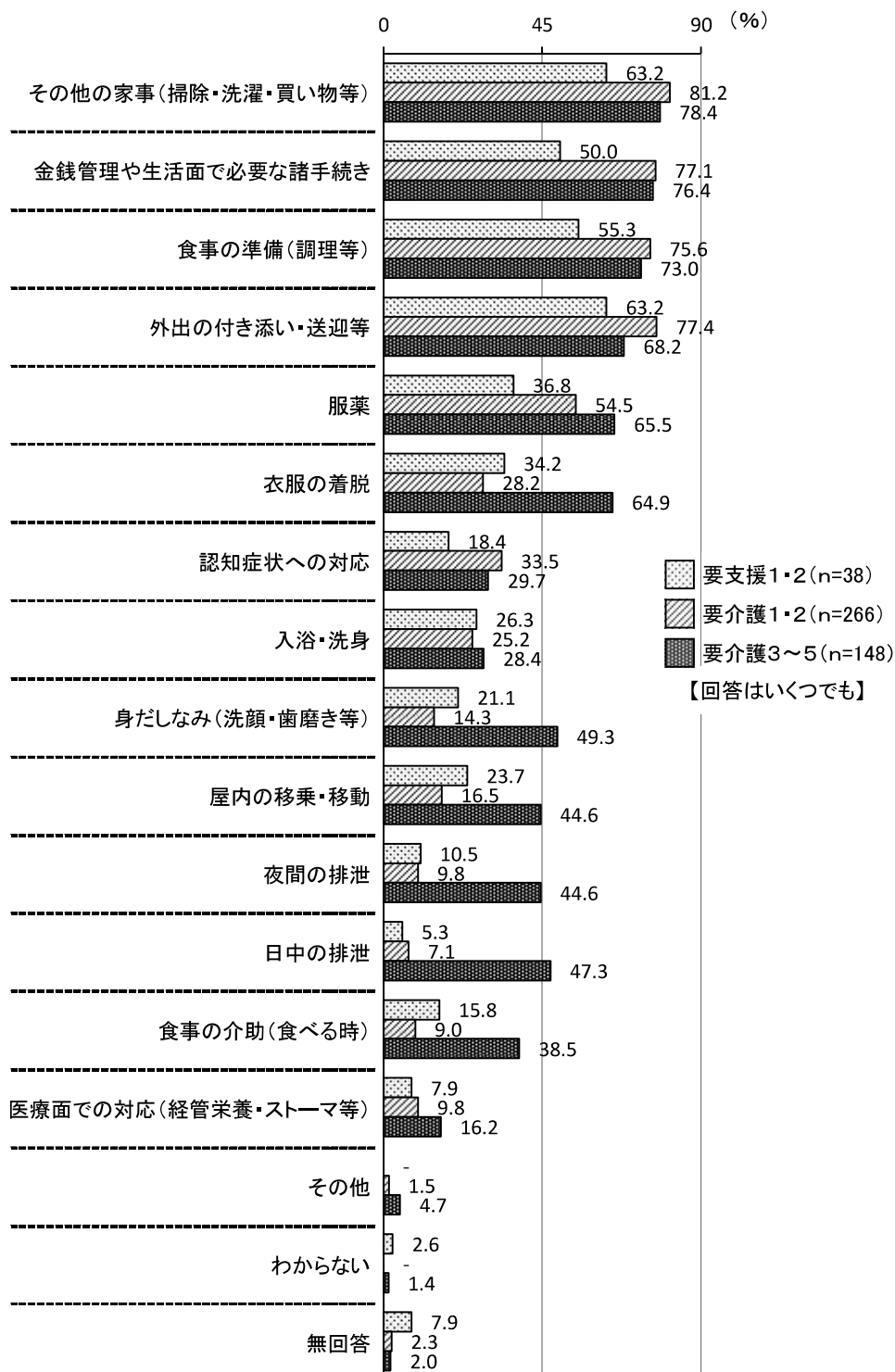
(5) 主な介護者が行っている介護等

問2(5) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(複数選択可)

主な介護者が行っている介護は、「その他の家事(掃除・洗濯・買い物等)」が78.4%、「金銭管理や生活面で必要な諸手続き」が73.8%、「食事の準備(調理等)」が72.9%、「外出の付き添い・送迎等」が72.5%、「服薬」が56.0%と多岐にわたっている。



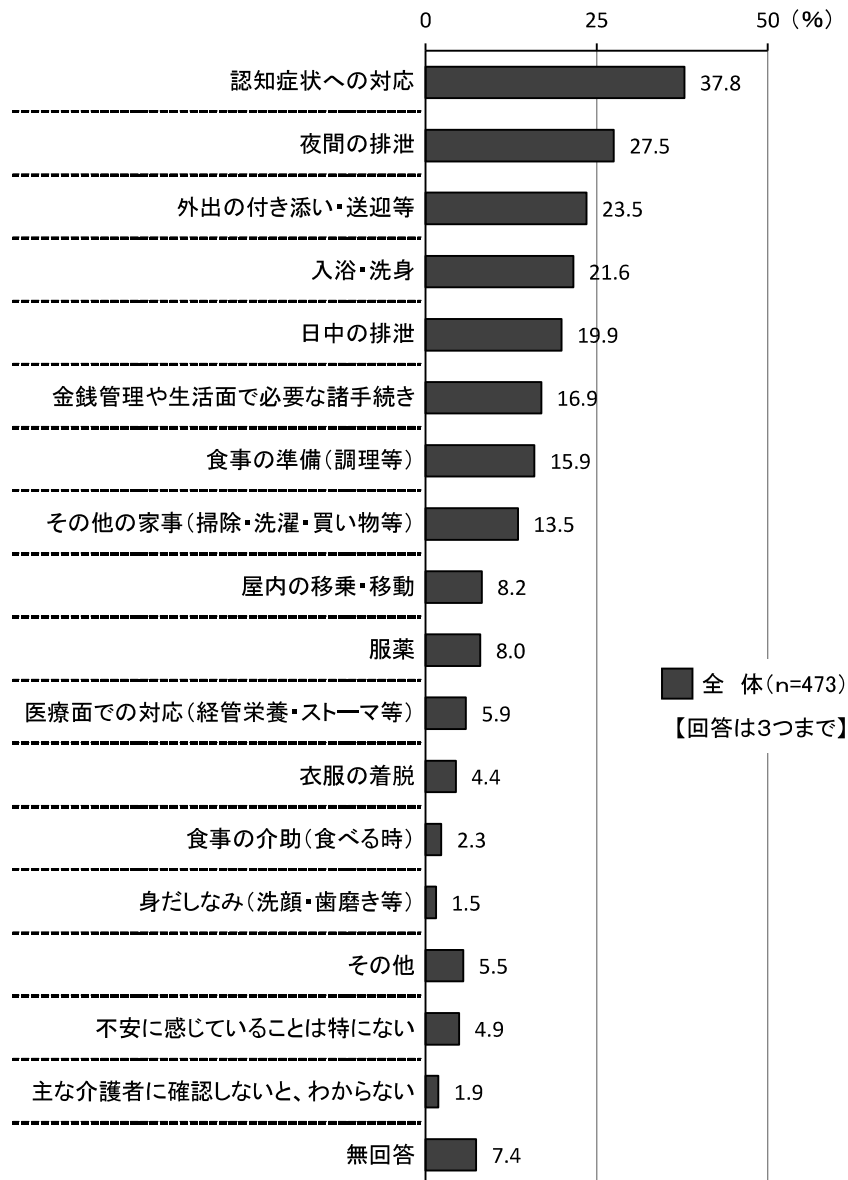
要介護度別にみると、「要介護1・2」と「要介護3～5」では上位4位にあげられた生活援助や外出同行の割合が約7割から8割と高い。また、「要介護3～5」では「服薬」(65.5%)、「衣服の着脱」(64.9%)、「身だしなみ(洗顔、歯磨き等)」(49.3%)、「日中の排泄」(47.3%)、「屋内の移乗・移動」「夜間の排泄」(同率44.6%)、「食事の介助(食べる時)」(38.5%)などの割合が、他の要介護度に比べて高い。



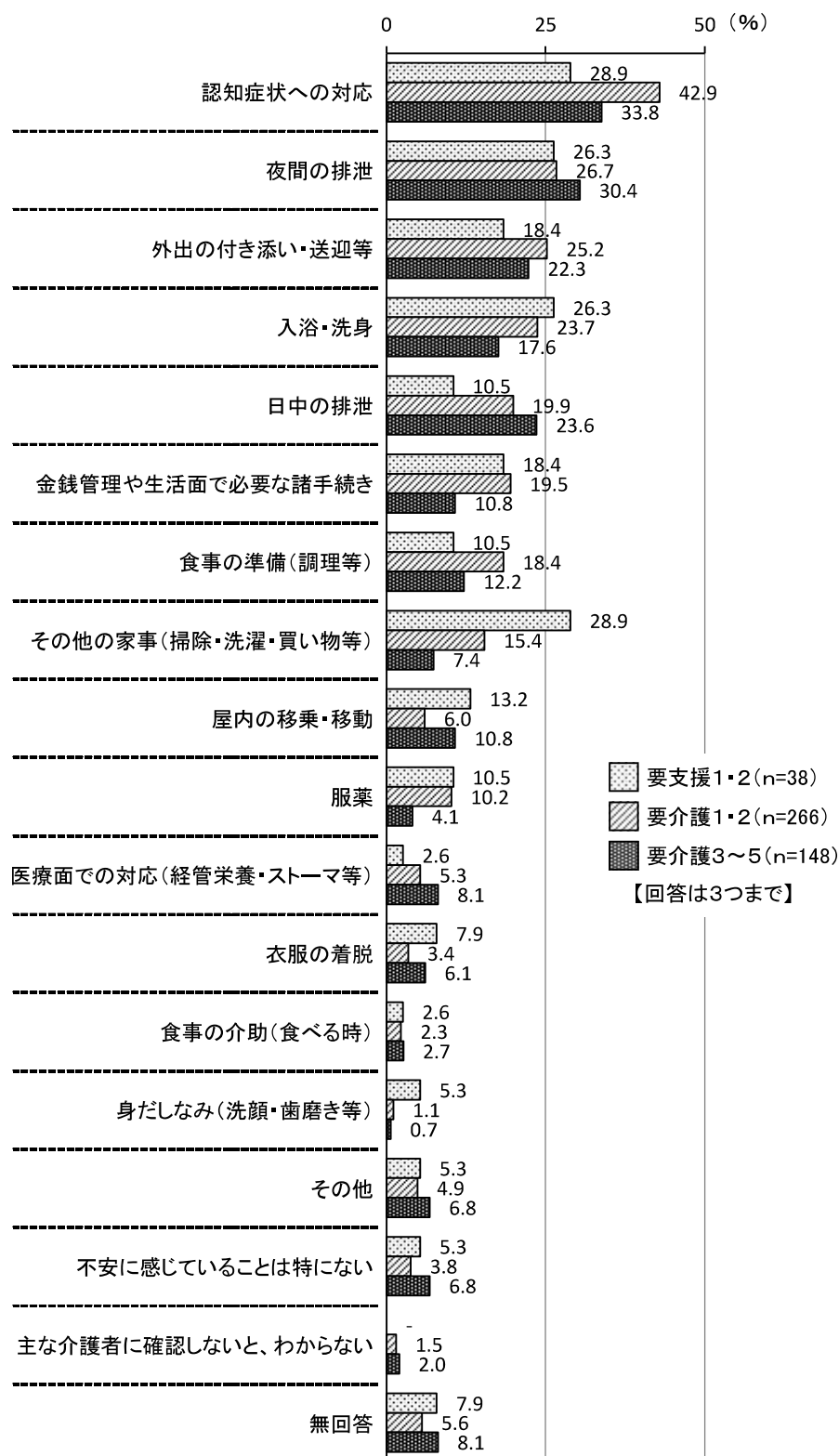
(6) 主な介護者が不安を感じる介護等

問2(6) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、
ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

主な介護者が不安を感じる介護は、「認知症状への対応」が 37.8%と最も高く、次いで「夜間の排泄」が 27.5%、「外出の付き添い・送迎等」が 23.5%、「入浴・洗身」が 21.6%、「日中の排泄」が 19.9%である。



要介護度別にみると、いずれの介護度でも「認知症状への対応」「夜間の排泄」への不安が高く、特に「要介護1・2」では「認知症状への対応」が42.9%と最も高い。その他「要支援1・2」では「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」（28.9%）、「要支援1・2」と「要介護1・2」では「金銭管理や生活面で必要な諸手続き」「入浴・洗身」が約2割から2割台半ば、「要介護1・2」と「要介護3～5」では「外出の付き添い・送迎等」「日中の排泄」が約2割から2割台半ば、「要介護1・2」で「食事の準備（調理等）」が18.4%と他の介護度に比べて割合が高くなっている。



主な介護者の就労継続の見込み別にみると、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは、やや+かなり難しい』人では「認知症状への対応」が61.5%、「夜間の排泄」が34.6%と高い。

「問題はあるが、何とか続けていける」人では「認知症状への対応」が43.8%、「日中の排泄」(28.6%)、「夜間の排泄」(38.1%)への不安が高く、「問題なく、続けている」人では「外出の付き添い・送迎等」(25.0%)、「認知症状への対応」「食事の準備(調理等)」「日中の排泄」「夜間の排泄」(同率22.5%)への不安が高い。

(%)

		標本数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い・送迎	服薬
全 体		473 100.0	94 19.9	130 27.5	11 2.3	102 21.6	7 1.5	21 4.4	39 8.2	111 23.5	38 8.0
主な介護者の就労継続の見込み別	問題なく、続けていける	40	22.5	22.5	-	10.0	2.5	5.0	10.0	25.0	5.0
	問題はあるが、何とか続けていける	105	28.6	38.1	4.8	18.1	1.9	3.8	11.4	19.0	7.6
	続けていくのは、やや+かなり難しい	26	23.1	34.6	3.8	23.1	-	-	7.7	11.5	7.7
	主な介護者に確認しないと、わからない	6	-	-	-	16.7	-	-	-	16.7	16.7
	無回答	296	16.6	24.3	1.7	24.3	1.4	5.1	7.1	26.0	8.4
		標本数	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養・ストーマ等)	食事の準備(調理等)	洗濯・買物等(掃除・その他家事)	金銭管理や生活面で必要な手続き	その他	不安に感じていること	主な介護者から確認しないこと	無回答
全 体		473 100.0	179 37.8	28 5.9	75 15.9	64 13.5	80 16.9	26 5.5	23 4.9	9 1.9	35 7.4
主な介護者の就労継続の見込み別	問題なく、続けていける	40	22.5	10.0	22.5	7.5	12.5	2.5	10.0	-	5.0
	問題はあるが、何とか続けていける	105	43.8	6.7	11.4	10.5	22.9	7.6	1.0	1.0	3.8
	続けていくのは、やや+かなり難しい	26	61.5	-	15.4	11.5	11.5	11.5	-	-	3.8
	主な介護者に確認しないと、わからない	6	16.7	-	-	16.7	66.7	-	-	50.0	-
	無回答	296	36.1	5.7	16.9	15.5	14.9	4.7	6.1	1.7	9.5

(7) 主な介護者の勤務形態

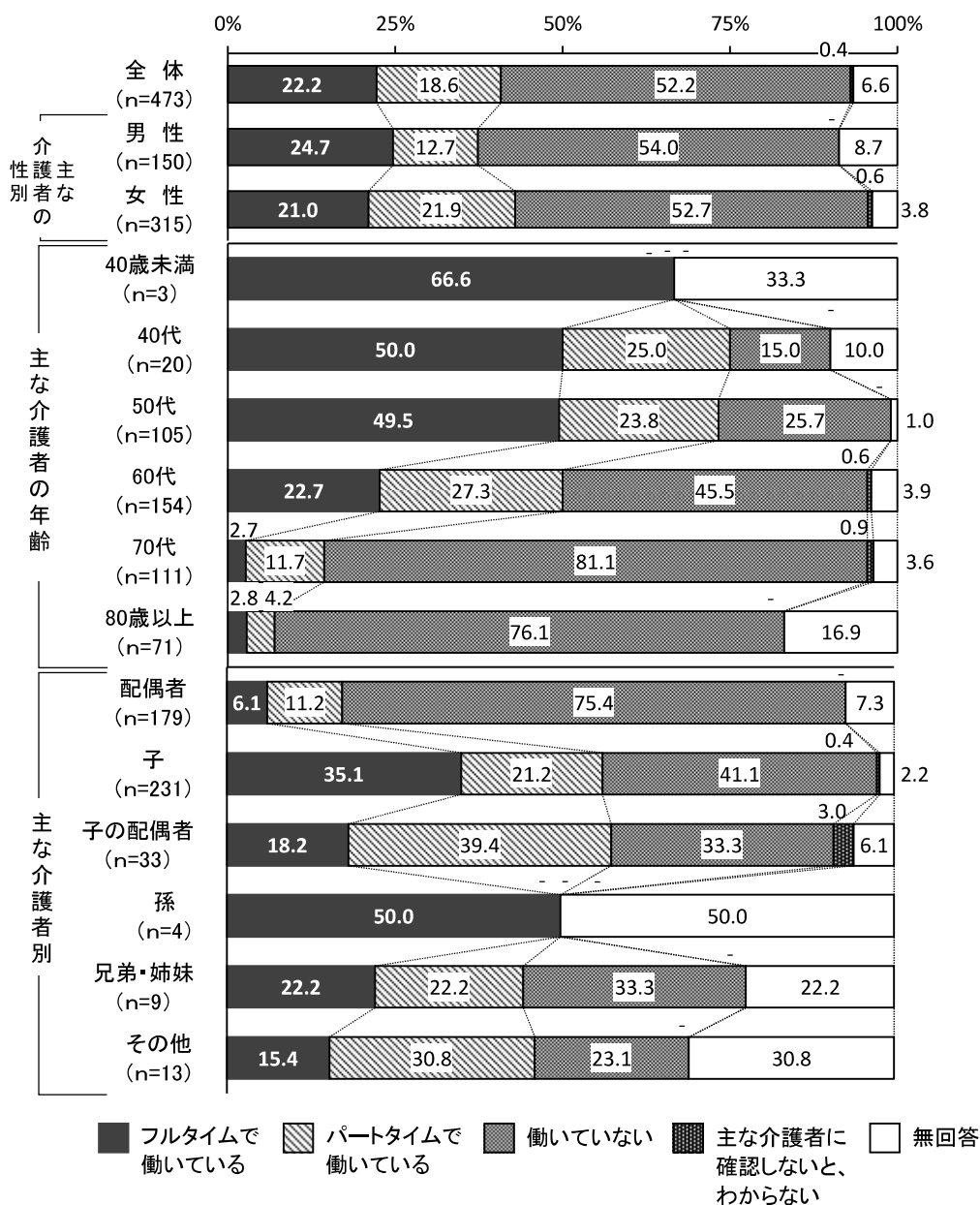
問2(7) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が52.2%、「フルタイムで働いている」が22.2%、「パートタイムで働いている」が18.6%である。

主な介護者の性別にみると、男女とも「働いていない」が5割台あるが、「男性」は「フルタイムで働いている」が24.7%と「女性」(21.0%)より3.7ポイント高く、「女性」は「パートタイムで働いている」が21.9%と「男性」(12.7%)より9.2ポイント高い。

主な介護者の年齢別にみると、「50代」までは「フルタイムで働いている」人が約半数以上であるが、『60代以上』になると「働いていない」が増えている。

主な介護者別にみると、「子」の場合「フルタイムで働いている」が35.1%、「パートタイムで働いている」が21.2%と働きながら親の介護を行っている人は56.3%である。また、「子の配偶者」の場合でもフルタイムやパートタイムで働きながら介護を行っている人は57.6%ある。

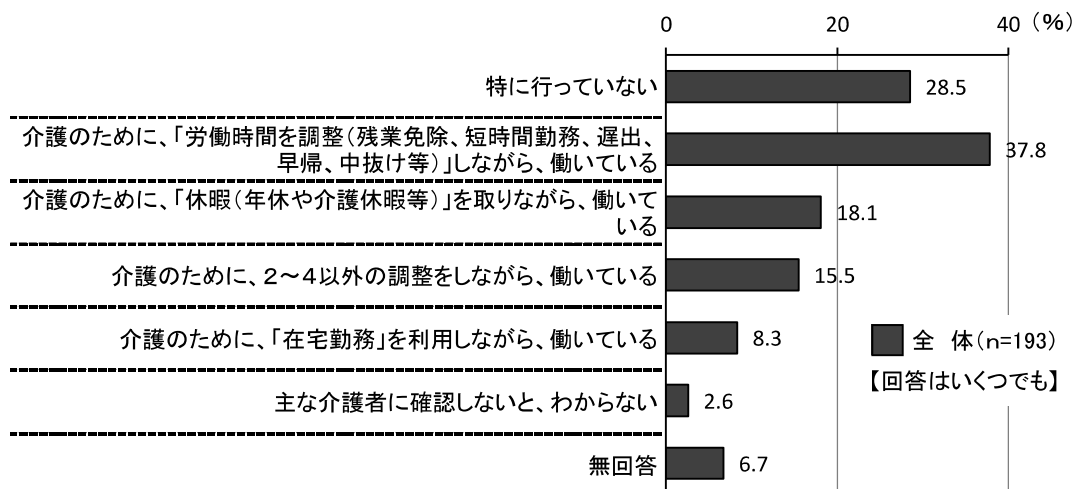


(8) 働き方の調整の有無

問2 (8) 問2 (7) で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

主な介護者が働きながら介護をするにあたり、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出、早帰、中抜け等)」しながら、働いている」が37.8%で最も高く、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が18.1%と労働時間の調整、休暇を取りながら介護を行っている場合が多い。



主な介護者の勤務形態別にみると、いずれの勤務形態も「特に行っていない」と「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出、早帰、中抜け等）」しながら、働いている」の割合は同程度である。

「フルタイム」では「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（22.9%）や「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」（11.4%）の割合が「パートタイム」より高い一方で、「パートタイム」では、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」（18.2%）の割合が「フルタイム」より高い。

主な介護者の就労継続の見込み別にみると、「問題なく、続けている」では「特に行っていない」が52.5%であるが、『続けていくのは、やや＋かなり難しい』では23.1%と低い。『続けていくのは、やや＋かなり難しい』人では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出、早帰、中抜け等）」しながら、働いている」（57.7%）や「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（26.9%）、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」（15.4%）などの割合が高い。

(%)

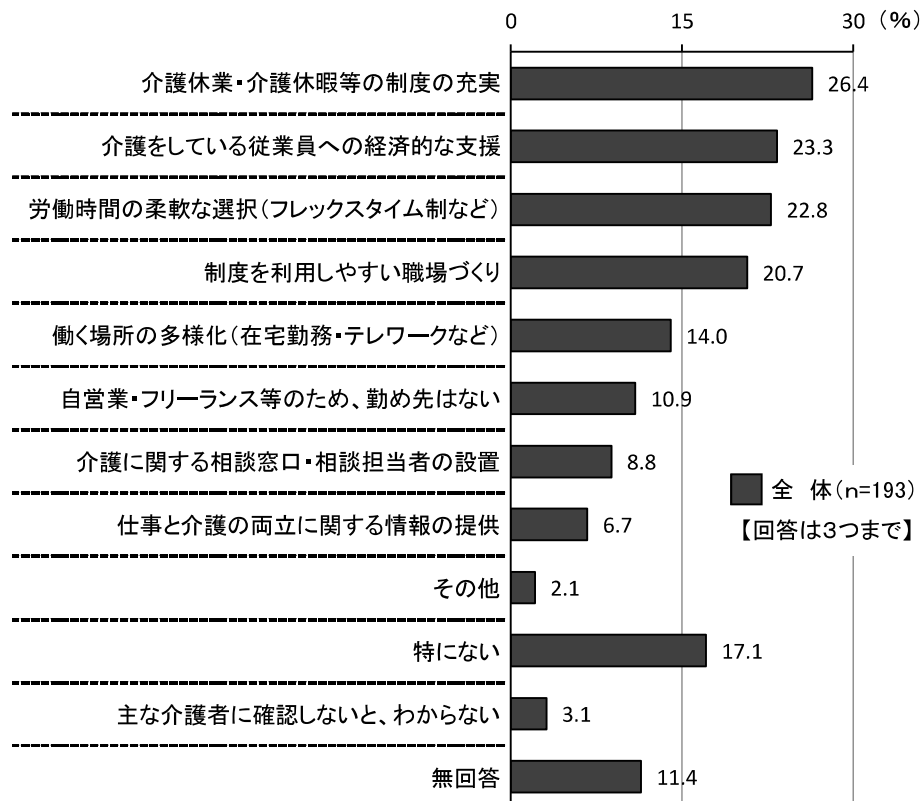
		標 本 数	特 に 行 っ て い な い	調 整 の た め に 、「 遅 出 、 早 帰 、 中 抜 け 等 」 を し な が ら 、 働 い て い る	介 護 の た め に 、「 休 暇 （ 年 休 や 介 護 休 暇 等 ） 」 を 取 り な が ら 、 働 い て い る	介 護 の た め に 、「 在 宅 勤 務 」 を 利 用 し な が ら 、 働 い て い る	調 整 の た め に 、「 2 ～ 4 以 外 の 調 整 」 を し な が ら 、 働 い て い る	主 な 介 護 者 に 確 認 し な い と 、 わ か ら な い	無 回 答
全 体		193 100.0	55 28.5	73 37.8	35 18.1	16 8.3	30 15.5	5 2.6	13 6.7
主 な 介 護 者 の 勤 務 形 態 別	フルタイム	105	29.5	38.1	22.9	11.4	13.3	2.9	4.8
	パートタイム	88	27.3	37.5	12.5	4.5	18.2	2.3	9.1
主 な 介 護 者 の 就 労 継 続 の 見 込 み 別	問題なく、続けていける	40	52.5	12.5	10.0	5.0	17.5	－	7.5
	問題はあるが、何とか続けていける	105	24.8	45.7	21.9	6.7	16.2	1.0	3.8
	続けていくのは、やや＋かなり難しい	26	23.1	57.7	26.9	15.4	11.5	－	－
	主な介護者に確認しないと、わからない	6	－	－	－	16.7	－	66.7	16.7
	無回答	16	12.5	31.3	6.3	12.5	18.8	－	31.3

(9) 仕事と介護の両立に効果があると感じる支援策

問2 (9) 問2 (7) で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が26.4%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が23.3%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が22.8%、「制度を利用しやすい職場づくり」が20.7%であげられている。「特にない」は17.1%である。



主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム」では「介護をしている従業員への経済的な支援」(30.5%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(26.7%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(24.8%)、「働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)」(21.0%)の割合が「パートタイム」より高い一方で、「パートタイム」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(28.4%)や「特になし」(23.9%)の割合が「フルタイム」より高い。

主な介護者の就労継続の見込み別にみると、『続けていくのは、やや+かなり難しい』人では「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(42.3%)、「介護をしている従業員への経済的な支援」(同率 42.3%)、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(34.6%)、「働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)」(30.8%)の割合が高く、「問題はあるが、何とか続けていける」人では「制度を利用しやすい職場づくり」(28.6%)の割合が高い。また「問題はあるが、何とか続けていける」と『続けていくのは、やや+かなり難しい』人では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が約33%と高い。

(%)														
		標 本 数	自 営 業 ・ フ リ ー ラ ン ス 等 の た め 、 勤 め 先 は な い	介 護 休 業 ・ 介 護 休 暇 等 の 制 度 の 充 実	制 度 を 利 用 し や す い 職 場 づ く り	労 働 時 間 の 柔 軟 な 選 択 な ど （ フ レ ッ ク ス タ イ ム 制 な ど ）	働 く 場 所 の 多 様 化 （ 在 宅 勤 務 ・ テ レ ワ ー ク な ど ）	仕 事 と 介 護 の 両 立 に 関 す る 情 報 の 提 供	介 護 に 関 する 相 談 窓 口 ・ 相 談 担 当 者 の 設 置	介 護 を し て い る 従 業 員 へ の 経 済 的 な 支 援	そ の 他	特 に な い	主 な 介 護 者 に 確 認 し な い と 、 わ か ら な い	無 回 答
全 体		193 100.0	21 10.9	51 26.4	40 20.7	44 22.8	27 14.0	13 6.7	17 8.8	45 23.3	4 2.1	33 17.1	6 3.1	22 11.4
態 別 勤 務 形 態	フルタイム	105	10.5	24.8	26.7	24.8	21.0	6.7	9.5	30.5	2.9	11.4	3.8	10.5
	パートタイム	88	11.4	28.4	13.6	20.5	5.7	6.8	8.0	14.8	1.1	23.9	2.3	12.5
主 な 介 護 者 の 就 労 の 見 込 み 別	問題なく、続けていける	40	17.5	17.5	15.0	12.5	7.5	2.5	-	7.5	5.0	37.5	-	7.5
	問題はあるが、 何とか続けていける	105	10.5	33.3	28.6	22.9	13.3	8.6	12.4	28.6	1.0	15.2	1.0	6.7
	続けていくのは、 やや＋かなり難しい	26	11.5	34.6	11.5	42.3	30.8	7.7	11.5	42.3	3.8	-	-	-
	主な介護者に確認しないと、 わからない	6	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	83.3	16.7
	無回答	16	-	-	6.3	25.0	12.5	-	6.3	6.3	-	12.5	-	62.5

(10) 働きながら介護を続けることについて

問2 (10) 問2 (7) で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

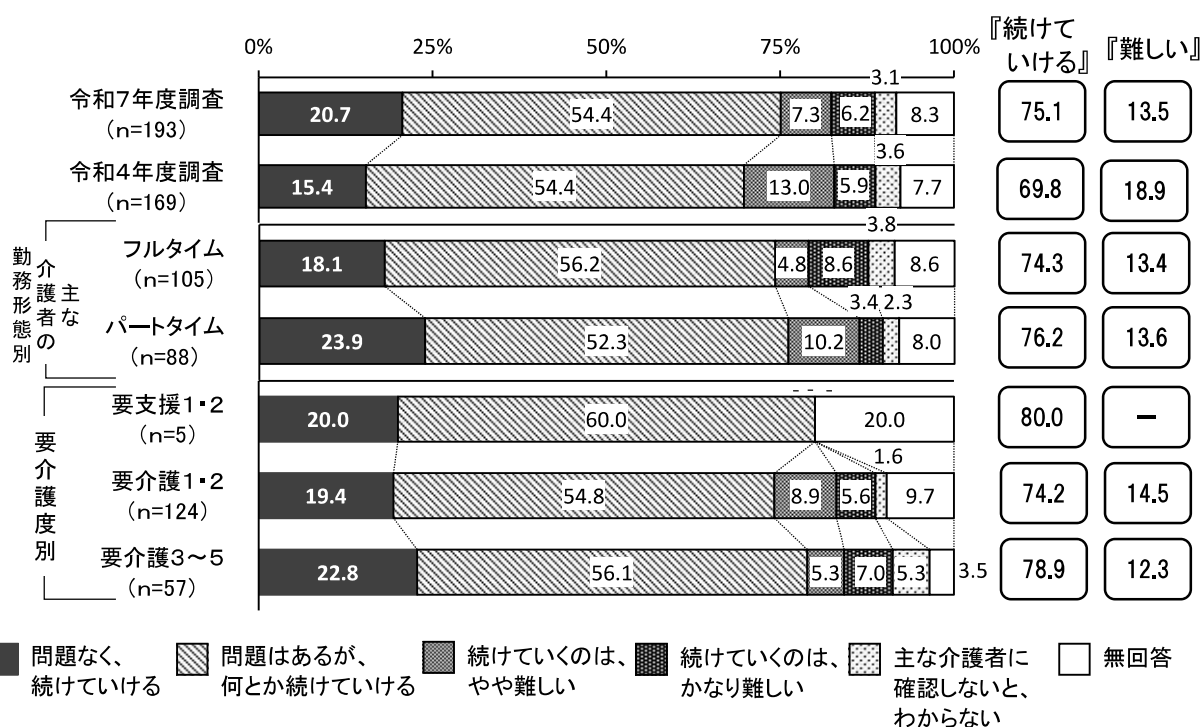
主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか
(1つを選択)

今後も働きながら介護を続けていくことについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が54.4%と最も高く、これに「問題なく、続けていける」(20.7%)を合わせた『続けていける』は75.1%である。「続けていくのは、やや難しい」は7.3%で、これに「続けていくのは、かなり難しい」(6.2%)を合わせた『難しい』は13.5%である。

古賀市で令和4年12月に実施された「在宅介護実態調査」(以下、前回調査という)と比べると、「問題なく、続けていける」は5.3ポイント増え、『難しい』は5.4ポイント減っている。

主な介護者の勤務形態別にみると、いずれの勤務形態でも『続けていける』が7割台半ばとあまり変わらないが、内訳をみるとパートタイムでは「問題なく、続けていける」が23.9%とフルタイム(18.1%)に比べて5.8ポイント高い。

要介護度別にみると、「要介護1・2」で『続けていける』が74.2%、「要介護3～5」では78.9%と介護度が高い方が今後も働きながら介護を続けていけるとの回答が高い。

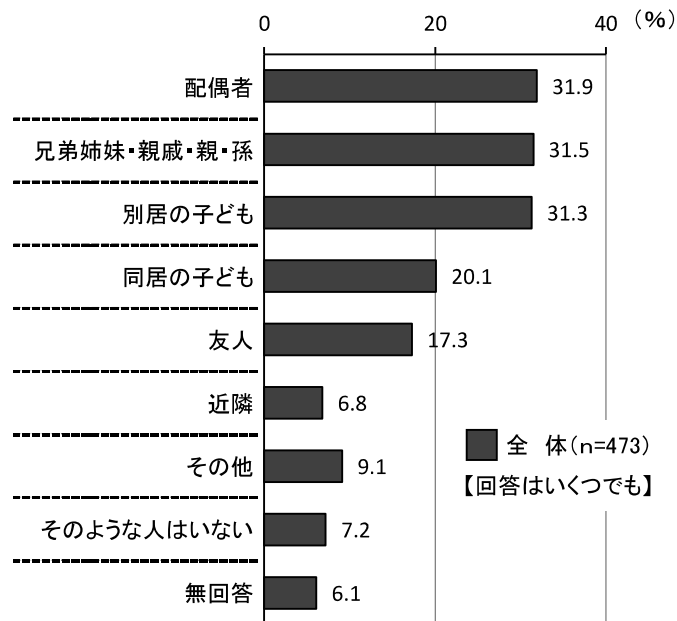


3. 主な介護者の相談相手について

(1) 主な介護者の心配事を聞いてくれる人

問3 (1) 主な介護者の心配事を聞いてくれる人について、ご回答ください
(複数選択可)

主な介護者の心配事をきいてくれる人は「配偶者」が31.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.5%、「別居の子ども」が31.3%である。「そのような人はいない」は7.2%である。



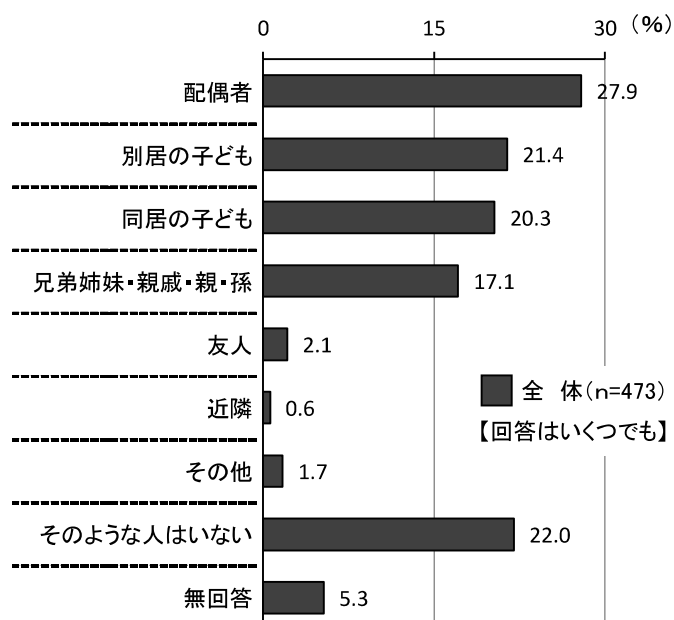
主な介護者別にみると、主な介護者が「配偶者」では「別居の子ども」(48.6%)、「子」では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(42.4%)、「子の配偶者」では「配偶者」(69.7%)の割合が高い。

(%)											
		標 本 数	配 偶 者	同 居 の 子 ど も	別 居 の 子 ど も	親 兄 ・ 弟 孫 姉 妹 ・ 親 戚 ・	近 隣	友 人	そ の 他	い な い そ の よ う な 人 は	無 回 答
全 体		473 100.0	151 31.9	95 20.1	148 31.3	149 31.5	32 6.8	82 17.3	43 9.1	34 7.2	29 6.1
主 な 介 護 者 別	配偶者	179	26.3	22.3	48.6	20.1	7.3	16.2	7.3	6.7	6.1
	子	231	32.0	19.5	19.9	42.4	6.5	18.6	10.0	7.8	3.9
	子の配偶者	33	69.7	21.2	15.2	27.3	12.1	27.3	15.2	－	9.1
	孫	4	50.0	－	－	25.0	－	－	－	25.0	25.0
	兄弟・姉妹	9	22.2	11.1	44.4	33.3	－	－	－	－	11.1
	その他	13	23.1	15.4	30.8	15.4	－	7.7	15.4	15.4	23.1
	無回答	4	－	－	50.0	－	－	－	－	25.0	25.0

(2) 主な介護者が病気で寝込んだときに看病をしてくれる人

問3 (2) 主な介護者が病気で数日間寝込んだときに看病をしてくれる人について、ご回答ください
(複数選択可)

主な介護者が病気で寝込んだときに看病をしてくれる人は、「配偶者」が27.9%、「別居の子ども」が21.4%、「同居の子ども」が20.3%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が17.1%である。「そのような人はいない」は22.0%である。



主な介護者別にみると、主な介護者が「配偶者」では「別居の子ども」(34.6%)、「子」では「配偶者」(28.6%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.7%)、「子の配偶者」では「配偶者」(69.7%)の割合が高いが、「配偶者」「子」「孫」では「そのような人はいない」も2割を超えている。

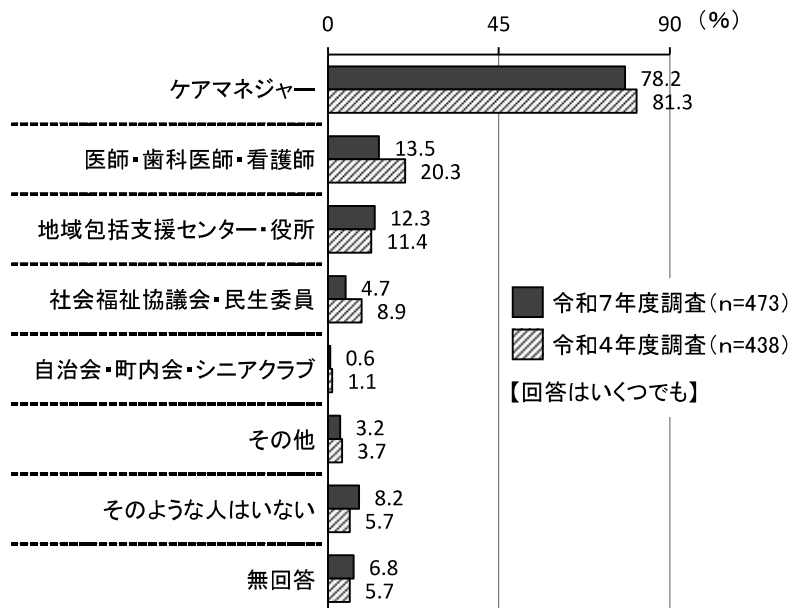
(%)											
		標 本 数	配 偶 者	同 居 の 子 ど も	別 居 の 子 ど も	親・兄弟・ 孫・姉妹・ 親戚・	近 隣	友 人	そ の 他	その い や う な 人 は	無 回 答
全 体		473 100.0	132 27.9	96 20.3	101 21.4	81 17.1	3 0.6	10 2.1	8 1.7	104 22.0	25 5.3
主 な 介 護 者 別	配偶者	179	21.2	21.8	34.6	8.4	1.1	3.4	0.6	23.5	5.6
	子	231	28.6	21.2	13.0	24.7	0.4	1.7	1.7	22.1	3.5
	子の配偶者	33	69.7	18.2	6.1	12.1	－	－	3.0	12.1	6.1
	孫	4	50.0	－	25.0	－	－	－	－	25.0	25.0
	兄弟・姉妹	9	22.2	11.1	33.3	33.3	－	－	－	11.1	－
	その他	13	7.7	7.7	7.7	15.4	－	－	15.4	30.8	23.1
	無回答	4	－	－	50.0	－	－	－	－	25.0	25.0

(3) 主な介護者が家族・友人・知人以外で相談する相手

問3 (3) 主な介護者が、家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手について、ご回答ください(複数選択可)

主な介護者が家族や友人・知人以外で相談する相手は「ケアマネジャー」が78.2%と最も高い。次いで「医師・歯科医師・看護師」が13.5%、「地域包括支援センター・役所」が12.3%である。「そのような人はいない」は8.2%である。

前回調査と比べると、「医師・歯科医師・看護師」が6.8ポイント減り、「社会福祉協議会・民生員」や「ケアマネジャー」も3.1~4.2ポイント減っている。「そのような人はいない」はやや増えている。



4. 調査対象者の在宅医療・介護の希望について

(1) 将来、希望する暮らし方

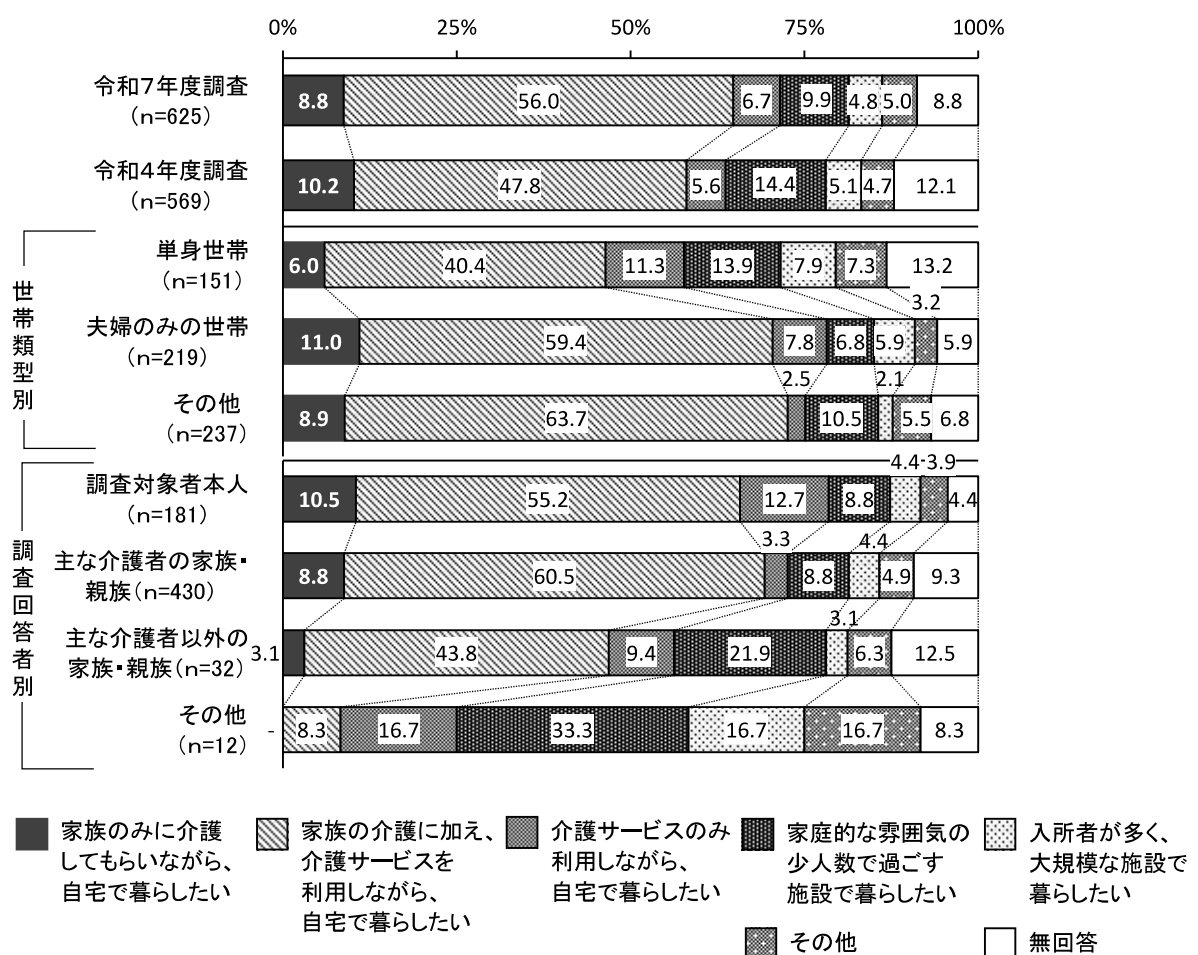
問4(1) 将来、どのように暮らしたいと思いますか (1つを選択)

調査対象者が将来、希望する暮らし方は、「家族の介護に加え、介護サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が56.0%と最も高く、「家族のみに介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」(8.8%)や「介護サービスのみ利用しながら、自宅で暮らしたい」(6.7%)をあわせた71.5%の人が自宅での暮らしを希望している。

前回調査と比べると、「家族の介護に加え、介護サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」は8.2ポイント増えている。

世帯類型別にみると、「夫婦のみの世帯」と「その他」の世帯では「家族の介護に加え、介護サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が約6割と高い。

調査回答者別にみると、「調査対象者本人」は「家族の介護に加え、介護サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が55.2%で「主な介護者の家族・親族」(60.5%)より5.3ポイント低い。一方、「家族のみに介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」(10.5%)や「介護サービスのみ利用しながら、自宅で暮らしたい」(12.7%)の割合が高く、自宅での暮らしを希望する割合は78.4%と高い。



(2) 自宅で介護を受ける場合に希望する介護者

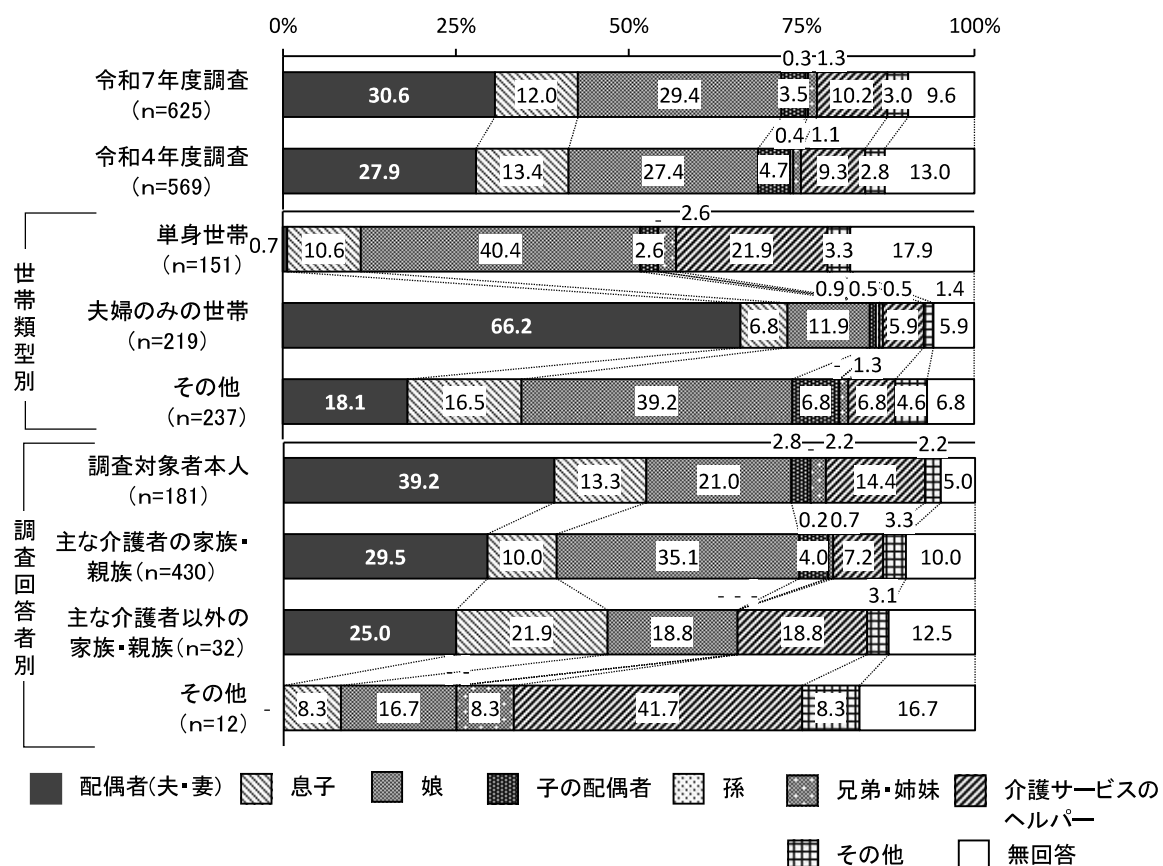
問4(2) 自宅で介護を受ける場合、誰に介護を頼みたいですか（1つを選択）

自宅で介護を受ける場合に介護を頼みたい人は、「配偶者」(30.6%)と「娘」(29.4%)が約3割で同程度となっている。

前回調査と比べると、「配偶者」「娘」「介護サービスのヘルパー」がやや増えている。

世帯類型別にみると、「夫婦のみの世帯」では「配偶者(夫・妻)」が66.2%と最も高い。「単身世帯」と「その他」の世帯では「娘」が約4割と高く、次いで「単身世帯」では「介護サービスのヘルパー」が21.9%である。

調査回答者別にみると、「調査対象者本人」は「配偶者(夫・妻)」が39.2%、「主な介護者の家族・親族」は「娘」が35.1%と最も高い。



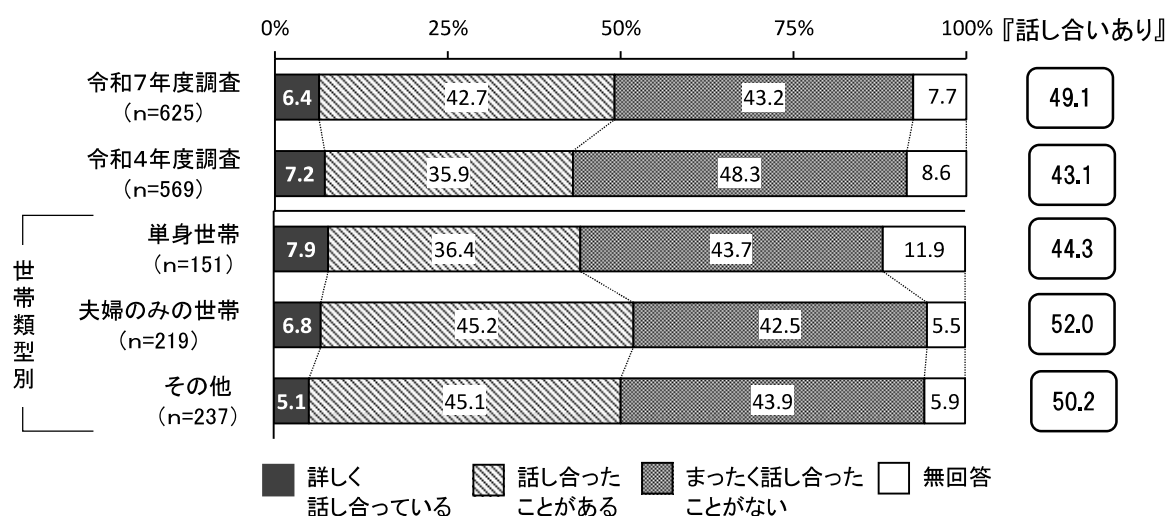
(3) 終末期医療に関する話し合いの有無

問4 (3) あなたは、ご自身が終末期に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか (1つを選択)

終末期医療に関する家族の話し合いについて、「まったく話し合ったことがない」が43.2%、「話し合ったことがある」が42.7%と同程度である。「詳しく話し合っている」(6.4%)と、「話し合ったことがある」をあわせた『話し合いあり』は49.1%である。

前回調査と比べると、「まったく話し合ったことがない」が5.1ポイント減り、「話し合ったことがある」は6.8ポイント増えている。

世帯類型別にみると、「単身世帯」では『話し合いあり』が44.3%と最も低いがい、そのうち「詳しく話し合っている」は7.9%と他の世帯に比べて高い。



(4) 最期を過ごしたい場所

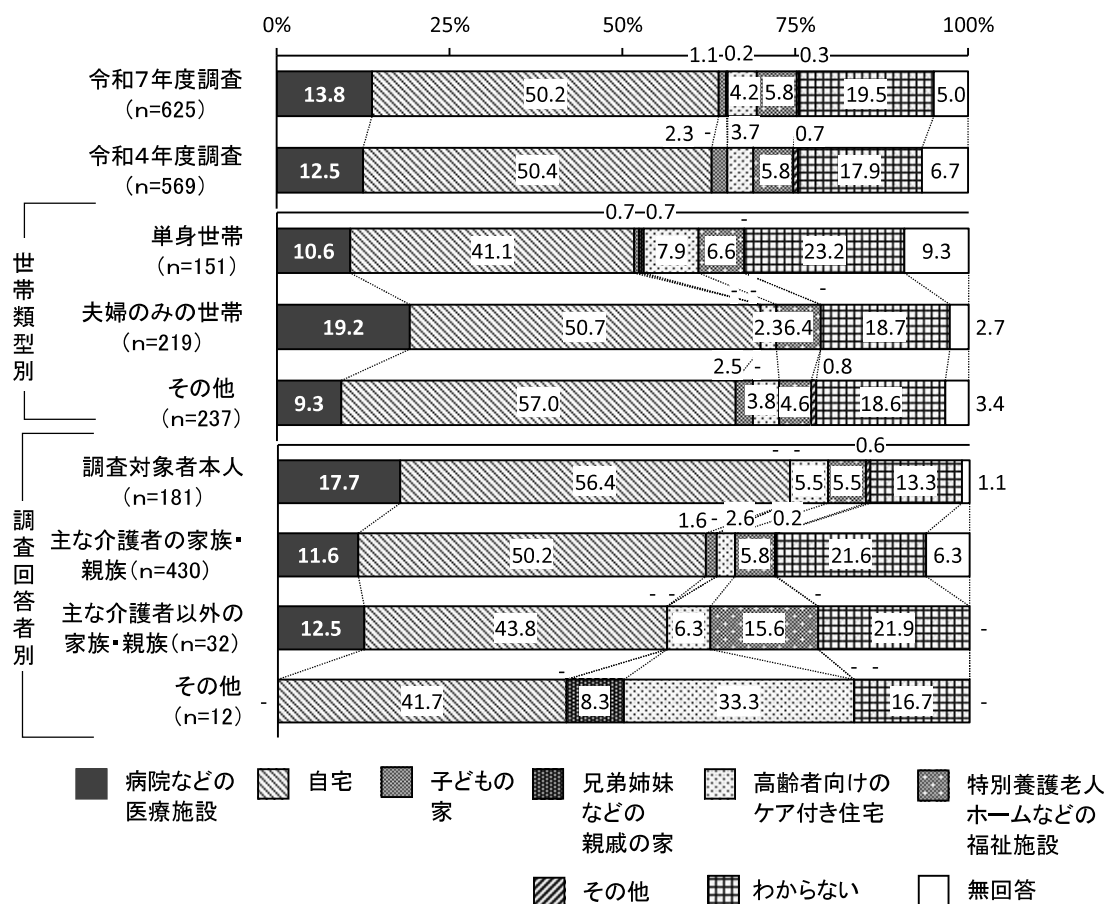
問4 (4) あなたが最期を過ごしたいと思う場所はどこですか (1つを選択)

最期を過ごしたい場所は、「自宅」が50.2%と最も高く、次いで「わからない」が19.5%、「病院などの医療施設」が13.8%である。

前回調査と比べると、「自宅」は約5割と変わらず、「病院などの医療施設」がやや増えている。

世帯類型別にみると、「その他」の世帯で「自宅」が57.0%と最も高い。「夫婦のみの世帯」でも「自宅」が50.7%と5割を超えているが、「病院などの医療施設」が19.2%と他の世帯に比べて高い。「単身世帯」では「わからない」が23.2%と他の世帯に比べて高い。

調査回答者別にみると、「調査対象者本人」は「病院などの医療施設」や「自宅」の割合が他の回答者に比べて高い。



◎ 使用した調査票

在宅介護実態調査

【調査票】

日頃から、古賀市行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では令和 8 年度末を目途に「介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」を策定予定です。この計画策定にあたり、皆様の心身の状態や生活状況、日々の生活課題をお聞かせいただくために、介護認定を受けている方のうち、在宅で生活している方を対象にアンケート調査を実施します。

皆様からのご回答は貴重な資料となりますので、ご多忙中とは存じますが、本調査にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

令和 7 年 1 2 月

古賀市健康介護課 介護保険係

調査票記入の際のご注意

- 調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に○をつけてください。
- 調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、

1 月 9 日(金) までに投函してください。

調査に関してのお問い合わせ先

古賀市 健康介護課 介護保険係

〒811-3116 福岡県古賀市庄205番地（サンコスモ古賀）

☎ 092-942-1144

FAX 092-942-1154

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものとみなさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、「介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」の策定のために行うものです。当該情報については、古賀市で適切に管理いたします。
- ただし、厚生労働省が管理する全国のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

- この調査は、「介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画」の策定のために行うものです。当該情報については、古賀市で適切に管理いたします。
- ただし、厚生労働省が管理する全国のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

記入日	令和 年 月 日
※下記より各項目の該当するものに○、または記入をお願いします。	
お住いの 小学校区 (調査対象者)	1. 青柳小学校区 3. 古賀東小学校区 5. 花鶴小学校区 7. 花見小学校区 ・ ・ ・ ・ 2. 小野小学校区 4. 古賀西小学校区 6. 千鳥小学校区 8. 舞の里小学校区 ※小学校区がわからない方は行政区名を下記に記入願います (区)

問 1**調査対象者様ご本人について、お伺いします**

(1) 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか (複数回答可)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他 |

(2) 世帯について、ご回答ください (1つを選択)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 |
| 3. その他 () | |

(3) ご本人の性別について、ご回答ください (1つを選択)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

(4) ご本人の年齢について、ご回答ください (1つを選択)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65歳未満 | 2. 65～69歳 | 3. 70～74歳 |
| 4. 75～79歳 | 5. 80～84歳 | 6. 85～89歳 |
| 7. 90歳以上 | | |

(5) ご本人の要介護度について、ご回答ください (1つを選択)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | |
| 3. 要介護1 | 4. 要介護2 | 5. 要介護3 |
| 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. わからない |

(6) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居の申し込みをしている | |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、有料老人ホーム等、グループホーム、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

(7) ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(複数選択可)

1. 脳血管疾患(脳卒中) 2. 心疾患(心臓病) 3. 悪性新生物(がん)
4. 呼吸器疾患 5. 腎疾患(透析) 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症・脊柱管狭窄症)
7. 膠原病(関節リウマチ含む) 8. 変形性関節疾患 9. 認知症
10. パーキンソン病 11. 難病(パーキンソン病を除く) 12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障がいを伴うもの) 14. その他
15. なし 16. わからない

(8) 令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか (1つを選択)

1. 利用した ⇒ 問1(9)へ 2. 利用していない⇒ 問1(10)へ

(9) 問1(8)で「1.」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない)」を選択してください(それぞれ1つに○)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
E. 通所介護(デイサービス)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
F. 通所リハビリテーション(デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
G. 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

	利用の有無（1つに○）				
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した			
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した			
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した			
	1 か月あたりの利用日数（1つに○）				
	利用して いない	月 1～7 日 程度	月 8～14 日 程度	月 15～21 日 程度	月 22 日 以上
K. ショートステイ（短期入所）	0 回	1～7 日	8～14 日	15～21 日	22 日以上
	1 か月あたりの利用回数（1つに○）				
	利用して いない	月 1 回 程度	月 2 回 程度	月 3 回 程度	月 4 回 程度
L. 居宅療養管理指導 （医師や薬剤師等が利用者宅にて療養上の管理 指導を実施するもの）	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回
（10）問1（8）で「2.」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可） 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2. 本人にサービス利用の希望がない 3. 家族が介護をするため必要ない 4. 以前、利用していたサービスに不満があった 5. 利用料を支払うのが難しい 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない 9. その他					

[※ここから再び、全員の方にお伺いします]

(11) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて
ご回答ください (複数選択可)

- | | | |
|------------------------|-------------|--------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物 (宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行 (通院・買い物など) |
| 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 () | |
| 11. 利用していない | | |

※総合事業に基づく支援・サービスは「介護保険サービス」に含みます。

(12) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、
さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください
(複数選択可)

- | | | |
|------------------------|-------------|--------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 | 3. 掃除・洗濯 |
| 4. 買い物 (宅配は含まない) | 5. ゴミ出し | 6. 外出同行 (通院・買い物など) |
| 7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等) | 8. 見守り、声かけ | |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 () | |
| 11. 特になし | | |

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

(13) ご本人 (調査対象者) は現在、訪問診療を利用していますか (1つを選択)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

(14) ご家族やご親戚の方からの介護は、週にどのくらいありますか
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

12 ページの問4へ
進んでください

問2へ進んでください

- 問1の(14)で「2.」～「5.」を選択された場合は、「主な介護者」の方に問2・問3へのご回答をお願いします。
- 「主な介護者」の方が問2・問3へのご回答が難しい場合は、ご本人様(調査対象者様)がご回答願います。ご本人様のご回答が難しい場合は、問2・問3は無回答で、12 ページの問4へ進んでください。

問2 主な介護者の方について、お伺いします

(1) ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職を除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職を除く)
3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた親族はいない 6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

(2) 主な介護者の方は、どなたですか (1つを選択)

1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者
4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他

(3) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください (1つを選択)

1. 男性

2. 女性

(4) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください (1つを選択)

1. 20歳未満

2. 20代

3. 30代

4. 40代

5. 50代

6. 60代

7. 70代

8. 80歳以上

9. わからない

(5) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください (複数選択可)

【身体介護】

1. 日中の排泄

2. 夜間の排泄

3. 食事の介助 (食べる時)

4. 入浴・洗身

5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)

6. 衣服の着脱

7. 屋内の移乗・移動

8. 外出の付き添い・送迎等

9. 服薬

10. 認知症状への対応

11. 医療面での対応 (経管栄養・ストーマ等)

【生活援助】

12. 食事の準備 (調理等)

13. その他の家事 (掃除・洗濯・買い物 等)

14. 金銭管理や生活面で必要な諸手続き

【その他】

15. その他 () 16. わからない

(8) 問2 (7) で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出、早帰、中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

(9) 問2 (7) で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

(10) 問2 (7) で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

問3

主な介護者の相談相手について、お伺いします

(1) 主な介護者の心配事を聞いてくれる人について、ご回答ください（複数選択可）
※主な介護者からの続柄としてお答えください。

- | | | |
|----------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

(2) 主な介護者が病気で数日間寝込んだときに看病をしてくれる人について、ご回答ください（複数選択可）

- | | | |
|----------------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ ） | 8. そのような人はいない | |

(3) 主な介護者が、家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手について、ご回答ください（複数選択可）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・シニアクラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役所 | 6. その他 |
| 7. そのような人はいない | |

問4**調査対象者ご本人の在宅医療・介護の希望について、お伺いします**

(1) 将来、どのように暮らしたいと思いますか (1つを選択)

1. 家族のみに介護してもらいながら、自宅で暮らしたい
2. 家族の介護に加え、介護サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい
3. 介護サービスのみ利用しながら、自宅で暮らしたい
4. 家庭的な雰囲気の中で少人数で過ごす施設で暮らしたい
5. 入所者が多く、大規模な施設で暮らしたい
6. その他 ()

(2) 自宅で介護を受ける場合、誰に介護を頼みたいですか (1つを選択)

- | | | |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 () | |

(3) あなたは、ご自身が終末期に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか (1つを選択)

1. 詳しく話し合っている
2. 話し合ったことがある
3. まったく話し合ったことがない

(4) あなたが最期を過ごしたいと思う場所はどこですか (1つを選択)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 病院などの医療施設 | 2. 自宅 |
| 3. 子どもの家 | 4. 兄弟姉妹などの親戚の家 |
| 5. 高齢者向けのケア付き住宅 | 6. 特別養護老人ホームなどの福祉施設 |
| 7. その他 | 8. わからない |

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

在宅介護実態調査報告書

令和8年 3月

**編集・発行／古賀市 健康介護課
古賀市庄 205 番地(サンコスモ古賀)**

TEL 092-942-1144

FAX 092-942-1154
